

# 令和7年度事業報告

社会福祉法人かながわ共同会

( 項 目 )	(頁)
1 概要	1
2 全体評価	
(1) 法人改革・愛名改善等実行プラン	2
(2) 法人改革・愛名改善等実行プラン以外	2
3 取組状況	
(1) 法人改革・愛名改善等実行プラン	3
(2) 法人改革・愛名改善等実行プランに掲載されていない事業等	12
4 基本施策の取組状況	
(1) 法人全体	17
(2) 各園	
①運営実績	21
②施設・設備整備等	29
③人権目標と取組内容	32
④人権・権利擁護に関する研修等実績	40
⑤利用者自治会の取組み	45
⑥成年後見人選任状況	47
⑦地域連携推進会議の実施状況	47
⑧地域における公益的な取組	48
⑨各園の地域における活動・祭り・コンサート等実施状況	50
⑩防災・防犯訓練の実施状況	52
⑪職員採用実績等	57
⑫事故報告	62
⑬ひやりはっと報告	68
⑭苦情・要望報告	69
⑮家族会・後援会の開催状況	73
⑯公正・透明な職場づくり制度運営状況報告	73

# 令和7年度事業報告

## 1 概要

令和7年度は、新たな中期計画に位置付けた『法人改革・愛名改善等実行プラン』（計画期間：3年）（以下「法人改革プラン」という。）の事実上の初年度に当たる。愛名やまゆり園での利用者虐待から約2年、同園を利用する障がい当事者本人及びご家族等から一日も早い改革プランの実現が求められる中、各園における日々の利用者支援の着実な実施とともに、法人改革・愛名改善を最優先に取り組んだ1年であった。

まず、法人改革プラン関連では、柱1「組織を変える」における「職員就業規則の抜本的な見直し」「当事者目線の障害福祉推進等を踏まえた法人理念の見直し」など、法人改革が着実に進んだ取組みがあった。加えて、外部コンサルの支援を得た人事・給与・研修制度の見直し、愛名における看護課と支援部の連携、インカムの試験的導入など、概ね計画目標を達成した取組みも含めると、全41取組み中、約半数の20取組みがB評価以上であり、法人の組織改革は一定程度進んでいると評価している。しかし、その一方で「組織を変える」から「意識を変える」に繋がる中核の取組みである人事・給与・研修制度の見直しは進んだとはいえ、未だ検討段階（令和8年度試行、9年度開始予定）であり、それを踏まえた法人幹部、職員の意識改革も未だ決して十分とは言えない状況にある。そうした法人改革・愛名改善の進捗状況を反映して、愛名やまゆり園を利用する障がい当事者の柱3「暮らしを変える」についても、この間の愛名を中心とした職員の努力は一定程度評価できる（B評価：8取組み）が、障がい当事者の暮らしを抜本的に変えるには、残念ながら未だ道半ばと言わざるを得ない。

次に法人改革プラン外の重点事業関連では、全19事業のうち半数以上の12事業でA・B評価であった。しかし、法人事務局所管の「法人経営の健全化と総務部門の集約化」「福祉人材の積極的な確保と離職の抑制」など、昨今の諸物価高騰や、急速な少子高齢化に伴う福祉人材確保の競争激化の中、益々その重要性が増すと思われる重要施策については、進捗状況がはかばかしくなく、法人の将来に厳しい課題を突き付けている。

なお、昨年度の法人経営については、令和6年度の報酬改定以降、大規模入所施設のメリット、地域区分の見直し等により若干の改善があったものの、県の『県立障害者支援施設の方向性ビジョン』で示された県立施設の役割の見直しや小規模化等の方向性から、引き続き難しい法人経営が続くと予想している。

こうした中、令和8年度は、厚木精華園、愛名やまゆり園の第2期指定管理の2年延長期間に入る中、延長が切れる令和10年度以降の両園のあり方の調整、検討を県と進めていかなければならないなど、法人の将来に大きな影響を与える課題が控えている。また、津久井やまゆり園については、事件から10年を迎え、事件を風化させないためにもこれからの追悼のあり方について検討を進めるとともに、次期指定管理に関する調整も進める必要がある。また、秦野精華園、希望の丘はだのについては、引き続き経営基盤の安定化に努める一方、法人の将来を見据えて、日中支援型グループホームを設立し、生活の選択肢を広げていきたい。2年後の令和9年度は報酬改定の年に当たる。法人としては、県立施設、法人自主組織とも、長期的な障がい福祉分野の動向をしっかりと見据えながら、持続可能な法人経営が確立できるよう、引き続き努力していきたい。

## 2 全体評価

### (1) 法人改革・愛名改善等実行プラン

(件)

項目	A	B	C	D	E	計
柱1 組織を変える	2 (15.4%)	3 (23.1%)	6 (46.1%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)
柱2 意識を変える	0 (37.5%)	7 (53.8%)	6 (46.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)
柱3 暮らしを変える	0 (0.0%)	8 (53.3%)	6 (40.0%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	15 (100.0%)
計	2 (4.9%)	18 (43.9%)	18 (43.9%)	3 (7.3%)	0 (0.0%)	41 (100.0%)

### (2) 法人改革・愛名改善等実行プランに掲載されていない事業等

(件)

所属 \ 評価	A	B	C	D	E	計
法人事務局	0 (0.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
秦野精華園 希望の丘はだの	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
厚木精華園	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
愛名やまゆり園	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
津久井やまゆり園	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
計	4 (21.1%)	8 (42.1%)	6 (31.6%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	19 (100.0%)

#### ○評価基準（法人事務局・各園共通）

評価	達成状況
A：事業計画どおり達成できた	100%以上
B：概ね達成できた	80%以上 100%未満
C：あまり達成できていない	60%以上 80%未満
D：達成できていない（未着手を除く）	60%未満
E：未着手	0%

3 取組状況  
 (1) かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プラン

柱	番号	具体的な取組み等	令和7年度		取組状況	評価	備考
			令和6年度	令和7年度			
組	1(1)ア	法人内に支援の質の向上部門を常設設置する方向で検討を進める【法人】					
		① 支援改善チームの愛名における支援改善活動(通年)	↑	↑	<p>【6・7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援改善チームの活動(R7年4月～)</li> <li>○ 意思決定支援活動(R7年4月～※R5からの積み上げ)。支援改善チームは寮ごとの取組、サード管理責任者や寮長等現場のサポート。</li> <li>○ 意思決定支援活動を各寮ごとに進めている。①利用者を知らぬおす⇒②支援に活かす⇒③多様な社会資源につなげるの3ステップを意識、利用者の経験体験、職員の気づきの記録の積み上げをヒヤリングシートに集約。</li> <li>○ 支援力向上プロジェクト及び日中活動プロジェクトの中で、各寮からのメンバーと共に目標を合わせスタート。利用者10名。</li> <li>○ チームメンバーは、利用者のため、まず職員が「やりたい」「たのしい」と主体的な動きが広がるように努めて発信。日中支援寮十寮ごとの活動が動き出している</li> <li>○ 各園等で実施してきた内容を冊子にまとめ、全職員へ発信(実践報告会、愛名共有会)</li> <li>○ 意思決定支援プロジェクトチームに再編し、活動を継続展開する(R8年4月～)</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトカネ厳しく、先行き不透明な中、常設組織見送り</li> <li>・常設組織である総合支援部長会議で当面所管方向予定</li> <li>・意思決定支援推進プロジェクト継続予定</li> </ul>
		② 意思決定支援プロジェクトの意思決定支援活動(通年)	↑	↑			
		③ 上記①②の活動の評価と総括(各年度後半)	↑	↑			
	④ 次年度以降の支援向上部門の設置検討(7年度第4半期)	↑	↑				
織	1(2)ア	外部コンサルタント等の専門機関の助けを借りて人事制度等を改革する【法人】					
		① ロードマップの企画作成・準備(6年度・7年度修正)	↑	↑	<p>【6・7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新人事制度等のスタート時期の見直し(給与システム入れ替えのためのスケジュール変更)(R8.4→R9.4 ※R8.10(一部スタート))</li> <li>○ コンサルタントとの打合せ 24回</li> <li>○ 法人事務局内勉強会の開催</li> <li>○ 人事考課制度あり方検討会、人権擁護研修委員会、総務部長会議等へ協議・報告</li> <li>・等級体系:5等級→8等級の複雑型へ改正(R8年10月、仮等級付与予定)</li> <li>・人事評価:全職員対象、年1回→2回の評価実施。(上司部下の気づきを促す面談回数増)</li> <li>・評価に基づく昇給・昇格に加え、期末手当加算等実施(R8年10月スタート)</li> <li>・管理職手当、子育て支援を厚くする扶養手当の見直し等(名ばかり管理職の解消と時代に適った手当の見直し)</li> </ul>		
		② 等級体系再編作業(7年度前半)	↑	↑			
		③ 人事評価体系再編作業(7年度中期～)	↑	↑			
		④ 給与体系再編作業(7年度後半～)	↑	↑			
	⑤ 研修体系再編作業(7年度後半)	↑	↑	<p>【7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修アドバイザーとの検討 18回実施</li> <li>○ 愛名現場見学、支援改善チーム等のヒアリング実施</li> <li>○ 他法人の研修体制等の情報収集のためのヒアリングを実施:(社福)翔の会、(社福)県央福祉会</li> <li>○ 他法人の研修体制等の情報収集を実施:石川興社協、所沢市社協、(社福)武蔵野、全国社会福祉法人経営者協議会</li> <li>○ 各園の職員(研修委員)に研修体系構築に関するヒアリングを実施</li> <li>○ 個別の研修計画を作成できる6ラーニングの業者の検討、見積を実施</li> <li>○ 新たな研修体系の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修体系の軸となる「法人のキャリアパス」「人材育成のための基本方針」「目指す職員像」について検討</li> <li>・新たな法人理念を具現化していくことを基盤にし、人事評価(能力・姿勢・成果)と連動した体系に置きす</li> <li>・階層構造を1級～8級とし、初任・中堅・管理職・上級管理者・経営者に区分し、研修区分をOJT・階層別・法定・課題別・職種別等に分類し直す</li> <li>・人事評価と連動した個別の研修計画を作成し、人材育成ができるよう仕組みを構築・各階層に必要な研修を配置</li> <li>・専門性を体系的に向上できる仕組みを強化</li> <li>・実践を通じた成長としてOJTの位置づけを強化し、相互育成の仕組みを強調</li> </ul> </li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人事給与と制度R9.4月スタート(人事評価R8.10～)</li> <li>・人事評価と連動した研修の実施。</li> </ul>	







(1) かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プラン

2(3)ア	<p>メンタルサポートアドバイザー等による職員サポートを推進する【法人、園】</p> <p>①専門家との相談・調整・人選(7年度内)</p> <p>②愛名との調整(7年度後半～)</p>	<p>●アドバイザー設置</p> <p>●実施計画策定(2月)</p>	<p>【6・7年度】</p> <p>○9月：メンタルサポートに関わる保健師とアドバイザー契約。園産業保健スタッフの一員と位置づけ、職員の健康相談を受けていく。</p> <p>○ストレスチェックで、高ストレス傾向見られた、生活1・2・3課長のヒアリングを12月～1月上旬に実施。</p> <p>○職員検診結果で所見の多い職員の健康相談を入口に、職員サポートをすすめる。2月から職員面談を開始。</p>	B	<p>・取組項目の見直し</p> <p>「メンタルサポートアドバイザー等により職員サポートを推進する」</p>
2(3)イ	<p>ケアスタイル、介護技術を自己チェックし、キャリアアップができる仕組みに見直す【法人】</p> <p>①ロードマップの企画作成・準備【再掲】</p> <p>②人事評価体系再編作業【再掲】</p> <p>③研修体系再編作業【再掲】</p>	<p>↑</p> <p>↑</p> <p>↑</p>	<p>1(2)A同様</p>	C	<p>・人事評価、研修体系の見直しの中で介護技術等のセルブチェックとキャリアアップの運動を模索中</p>
2(3)ウ	<p>職員一人ひとりのキャリアサポート体制を整備する【法人、園】</p> <p>①コンサルとの相談・調整・人選(7年度後半～)</p> <p>②愛名との調整(7年度後半)</p>	<p>↑</p> <p>↑</p>	<p>【6・7年度】</p> <p>○新たな人事給与体制の中で、等級体系を改正5等級→8等級の複雑型へ(19年4月スタート)</p>	C	<p>・上記キャリアサポート体制を支える仕組みを検討中</p>
2(3)エ	<p>利用者理解、利用者との関係性を文書で確認する「ヒアリングシート」を充実させ活用する【法人、改善T、園】</p> <p>①県との相談・調整(6年度内)</p> <p>②愛名との調整(6年度内)</p> <p>③虐待防止や利用者理解促進のためのシーートの活用(7年度～随時)</p>	<p>↑</p> <p>↑</p> <p>↑</p>	<p>【6・7年度】</p> <p>○虐待防止、利用者理解促進のためのシート活用方法の検討</p> <p>○利用者理解、意思を丁寧に汲み取るための取り組みを、①利用者を知りなおす⇒②支援に活かす⇒③多様な社会資源につなげるの3ステップを意識、利用者の経験・職員の気づきの記録の積み上げを「ヒアリングシート」に集約。</p>	C	<p>・「人となりシート」ではなくヒアリングシートを活用していく。</p>
2(3)オ	<p>園や法人の慣習に捉われない、広い視野を持った支援人材を育成するため、他法人との職員交流を進める【法人、園】</p> <p>①他事業所への見学、実習、交換研修を実施する(随時)</p> <p>②モニター職員を受け入れる(随時)</p> <p>③Aネットワークや地区事業等への参画を通じた職員交流(随時)</p>	<p>↑</p> <p>↑</p> <p>↑</p>	<p>【6・7年度】</p> <p>○他事業所等の見学</p> <p>・春日台センター見学(4/25)</p> <p>・厚木ASD支援センター(厚木市恩名)見学4名(6/27)(7/25)</p> <p>・発達支援センターイーエル(藤沢)体験実習2名(11/28、12/2)</p> <p>・中井やまゆり園の「らっかせい」見学(6/13)</p> <p>・井が谷やまゆり園ウミネコ(従たる事業所)見学(7/24)</p> <p>・社会福祉法人グリーン+あおはま(社会福祉法人ル・プリ)見学3名(7/10)</p> <p>⇒5日間の派遣研修 R8.1.19-23で実施。職員3名派遣。</p> <p>・入所のASD支援を知るために、東やまたしじやんの見学を検討中</p> <p>○モニター職員(紅梅学園・紅梅園)より1名ずつ受け入れ(R7.12)</p> <p>○Aネットワーク、厚木地区知的障害施設連絡会の研修や職員交流事業に随時参加。</p>	B	<p>—</p>
2(4)ア	<p>職員同士の議論の場、交流の場を設置し、開かれた職場づくりを進める【園】</p> <p>①寮を模断した職員同士の話し合いの場(しゃべり場)を実施する(随時)</p> <p>②出された課題等に対する園回答をフィードバックする(随時)</p>	<p>↑</p> <p>↑</p>	<p>【6・7年度】</p> <p>○「しゃべり場」の実施、8/21(理事長との意見交換)8/27。</p> <p>・話し合いや話しつくりを促した当日プログラムを作成。</p> <p>○新採用職員(5名)と先輩職員(4名)で意見交換(9/30)。</p> <p>・楽しいこと、大変なこと、悩みなど共有、積極的に関わった。</p> <p>所属を超えた意見交換、つながりを意図的に作ることを大切に学ぶ。</p>	C	<p>・新型コロナウイルスと次いで不活発となった現状の改革継続</p>



(1) かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プラン

3(1)カ	再アセスメントに基づき、介護保険施設への移行を進める【園】					—
	①愛名との相談・調整(随時)	↑		【6・7年度】 ○県内の介護保険施設へ1名の利用者が移行(R7年3月末)。 ○06/12に1名、7/23に1名の利用者が療養型病院へ移行 ○08/28支援評価委員会後に、南毛利地域包括支援センター職員による介護保険の勉強会実施。 ○11月末に女性1名、12/22に女性1名他GH療養型施設へ移行(再掲) ○12月に女性1名、小田原市の共生型短期入所施設を見学。利用に向けて調整。	C	—
	②移行先との調整(随時)	↑				
	③利用者ごとご家族等との調整(随時)	↑				
3(1)キ	法人各園の女性寮について、上記ア～カを総動員して支援環境の改善に努める【法人】					
	①各園との相談・調整(7年度内～随時)	↑		【6・7年度】 ○愛名の生活2・3課女性寮の職員(常勤4名分)については、園内・法人内支援を継続実施。 ○特別女性寮支援業務手当を愛名での継続適用(1年限り)する給与規程改正(6月理事会) ○県立施設方向性ビジョンに基づき、厚木、愛名において、利用者支援のあり方を検証。 ○今後の事業推進に向けて、8月から9月に理事長、アドバイザー、会議委員を念ん打合せ、視察を重ねる。JAあつぎの紹介物件での開設に向け事業計画案を園内運営会議で協議、9/4法人運営会議に報告。 ○女性利用者の移行が進む経過の中で、利用者減に伴い、ワンフロア化について検討。 ⇒若5GHの開所(令和8年8月予定)以降に、やよい寮(2階)とせせらぎ寮(1階)の入替えを検討。同性課とした上で、寮間の移行と個室化、相部屋解消を進める。	C	*R8年度からサービスマネジメントを地域移行確認担当者として選任。個別支援計画のサイクルに当事者の意向を確認し、関係者と共有し支援の輪をつなげる。
	②移行先等との調整(7年度内～随時)	↑				
	③利用者ごとご家族等の調整(7年度内～随時)	↑				
3(2)ア	利用者全員のカンファレンスと再アセスメント【改善T、園】					
	①ストレンダスや想い等の共有や生活反映に向けた話し合いの実施(通年)	↑		【6・7年度】 ○支援評価委員会、支援力向上プロジェクトで年一人1回のカンファレンスに向けた目標合わせを実施(R7.4～)。 ○各セッションでケースカンファレンスを順次実施。相談支援事業所の助言によりご家族の見学、関係者会議に行政も加わり、利用者の体験やサービスマネジメント利用につなげた。	B	—
	②園内カンファレンス及び支援チームカンファレンスの実施(通年)	↑				
	③想いや情報、状況の変化に応じたヒアリングシートの更新(通年)	↑				
3(2)イ	利用者全員の個別支援計画の作成【改善T、園】					
3(2)ウ	利用者、ご家族、支給決定自治体への個別支援計画の説明【改善T、園】					
3(2)エ	利用者の寮内での生活、日中活動、社会参加の拡大を進める【改善T、園】					
	①ヒアリングシートを資料とした本人への意向確認の実施(随時)	↑		【6・7年度】 ○支援評価委員会、支援力向上プロジェクトで年一人1回のカンファレンスに向けた目標合わせを実施(R7.4)。(再掲) ○相談支援体制見直しのための市町村に説明。相談支援の状況の共有を進める(R7.6～) ○ヒアリングシートを廻り下げ、支援につなげるための取組みとして、利用者の良いところから支援のアイデアにつなげるためのシートを作成している。	B	—
	②目標設定と支援アイデアの検討(随時)	↑				
	③上記①②を反映した個別支援計画の作成(随時)	↑				
	④利用者、ご家族等への説明。相談支援事業所や保護地との共有等(随時)	↑				
	⑤グループ会議での定期評価、本人へのモニタリングの実施(随時)	↑				
	⑥上記PDCAによる利用者の暮らしの変化を本人、支援者が実感する(随時)	↑				

(1) かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プラン

3(3)ア	外部の専門家やボランティアを活用し、日中活動体制を整備する【改善T、園】				
	① 趣味や趣味的活動、余暇的活動の取組みを外 部から招いて実施する(随時)	↑	↑	B	—
	② 新たな日中活動の場を検討する(随時)	↑	↑		
3(3)イ	民間企業等からの受注作業の拡大を図る【改善T、園】				
事	① 地域資源を活用した活動の充実(随時)	↑	↑	C	—
ら	② 地域の関係者、関係機関、団体等とのネット ワーク化による利用者の活動拡大(随時)	↑	↑		
し	③ 他障害者支援事業所の取り組み事例を参考に した利用者作業の拡大(随時)	↑	↑		
を	園外活動の充実を図り、地域とのつながり、自身の役割を実感できる活動に取り組む【改善T、園】				
3(3)ウ	園内活動であっても地域の方々と協働しながら役割や充実感を得られる取組みを取り入れる【改善T、園】				
3(3)エ	園外活動の充実を図り、地域とのつながり、自身の役割を実感できる活動に取り組む【改善T、園】				
を	① 地域資源と連携し、利用者の園外園内の活動を 充実(随時)	↑	↑	B	—
変	② 利用者自治会等で意向等を確認し、地域資源と 連携した活動・イベントの実施(随時)	↑	↑		
え	施設(経年劣化を踏まえ、県と協議し、園内活動スペースの拡大に取り組む【法人、改善T、園】)				
る	① 県との相談・調整(随時)	↑	↑	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R9年度の地域サービス種</li> <li>職員公舎の除却。日中活動や</li> <li>地域交流等の確保</li> <li>・地域移行に合わせ、県と寮</li> <li>内環境の整備を協議</li> </ul>
3(3)オ	② 愛名との調整(随時)	↑	↑		

(1) かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プラン

書らしを		利用者のニーズを踏まえ、日中支援型グループホームの開設の調整を進める【法人、改善T、園】												
3(4)ア	①愛名との相談・調整(随時)													
	②相手方との調整(随時)													
書らしを		利用者のニーズを踏まえ、包括型グループホームの増設の調整を進める【法人、改善T、園】												
3(4)イ	①愛名との相談・調整(随時)													
	②相手方との調整(随時)													

【6・7年度】

- 就労支援B型事業所しらゆりが老朽化。所有者(厚木市)から令和10年3月末明渡し依頼あり。仲介会社(JAあつぎ)と打合せ(R7.4)。
- 日中支援型グループホーム(1階)と通所事業所(2階)の合築を含めた候補地を検討。
- ・JAあつぎ紹介物件での開設に向けて事業計画案を園内運営会議で協議の上、9/4法人運営会議に報告。(再掲)
- ⇒10/23～通所事業所2F日中支援型グループホームの合築の可否について県と調整。
- ⇒1/6県障才課事業支援グループより、例外で合築認める方向で進めることについて連絡。
- 1月27日 厚木市自立支援協議会に協議

B

・R8年度開設に向けて準備  
日中支援型GH(1F)+生活介  
護事業所(2F)  
(他に1か所検討中)

【6・7年度】

- 厚木地区における包括型グループホーム1棟の新設(令和8年度8月開設予定)
- ・新築5号ホームの入居者は女性とすることし入居者の調整。

B

—

●精工(11月)

●入居予定者意向

(2) かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プランに掲載されていない事業等

園等	番号	具体的な取組	令和6年度	令和7年度	取組状況	評価	備考
	1	支援改善担当理事による支援改善の推進 ①身体拘束解除に向けた支援改善の取組み ②当事者目線の支援に向けた支援改善の取組み			◎支援改善チームの設置(令和6年10月) ○令和7年6月に虐待防止研修の一環として当事者(にじいろでGO! 奈良崎真弓氏)を講師に迎え本人活動についての研修を実施。 ○令和7年9月に当事者団体(にじいろでGO!)と共同会の利用者との当事者交流会を実施。	C	
	2	法人経営の健全化と総務部門の集約化 ①健全経営の方策検討 ②総務部門集約化の再検討			○法人内各施設における新たなグループホームや生活介護事業所の開設等、県の当事者目線の障がい福祉の推進に関する基本計画及び法人改革・愛名改善等実行プランに基づく地域生活移行支援を進めるに当たり、移行元となる本施設と移行先事業所の収支シミュレーションを行う等により、安定した経営をしていくための事業展開を検討していく。 ○人事労務管理、勤怠管理及び給与処理等のシステムの一元化と併せて総務部門の集約化について検討を行っている。他法人における総務部門集約事例の視察研修を10月に実施。	D	
	3	法人内地域支援事業の再編成 ①厚木精華園と愛名やまゆり園の地域支援部統合の検討・調整 ②法人内の事業の再編成と新たなグループホーム・日中サービス事業所の展開の検討			○前年度より地域性、事業の重複等から両園地域支援部の統合を検討してきた。今年度法人地域支援部再編担当が出来た事で、具体的検討に入る。統合により総務面・人員配置等事業の効率化とスピーディーな意思決定が望め地域移行の推進と新たな地域展開が期待できるが、現状の経営状況を見ると統合して一つの組織として立ち上げるのは厳しい状況。また、と事については事業存続についても検討していく。 ○法人内地域支援部の再編に向け、相談事業の3園統合と独立(令和9年度目標)、法人直轄事業での日中サービス支援型グループホームの開設に取組んでいる。相談事業については、事業計画を作成し法人CW相談従事者連絡会に諮り意見集約を行った。グループホームについては、愛名やまゆり園が令和9年度に日中サービス支援型グループホームの開設を予定しているため、動向を注視し開設時期を見極める。 ○今後の地域展開の参考のため、令和8年3月富山県にある社会福祉法人にいかわ苑へ共生型グループホームの視察を行う。	C	
4	福祉人材の積極的な確保と離職の抑制 ①関東圏外の大学や専門学校への職員募集の実施 ②外国人材の確保の取組み ③人材紹介会社の積極的な活用の促進 ④柔軟な働き方のための国制度への対応と第7回行動計画の確実な取組み			○大学、短大向けのキャリア支援サービスであるキャリアタスUC、専門学校向けのキャリアマップを利用し、求人票やオープンカンパニー(説明会、職場見学)の情報を配信した。そのため県外への学校訪問は実施しなかった。キャリアタスUCを通じて2026年卒の応募が7件あったが、採用には結びつかなかった。 ○外国人材を受け入れたい意向を持っている同業他法人を通じて、特定技能外国人の登録支援機関から情報収集を行い、津久井やまゆり園にて受け入れる方向性を確認した。 ○人材紹介会社について、法人事務局は(株)レバウェルから10件の提案があったが、愛名やまゆり園の臨時任用職員を採用した。 ○管休取得率の目標値である男性30%については対象者3名全員が取得しており目標達成した。女性については新規の対象者はいなかった。また、柔軟な働き方を実現するための措置で小学校就学までの短時間勤務と兼業而立支援体照のいずれかを選択できるよう対応をした。 ○残業ウェイクについては各園で実施した。なお、令和7年度の平均残業時間は6.5hであった。	C		
5	成年後見制度の普及啓発・推進 ①各園における成年後見に関する職員研修・人材育成 ②各園利用者の成年後見申請等の権利擁護への支援 ③各園における利用者の通帳管理の整理			○利用者への成年後見制度の説明、普及へ向けた分かりやすい資料「成年後見制度ってなんだろう?」を作成。各園・事業所等でよりよいように周知。 ○希望の要したのグループホームの利用者(男性2名)から成年後見制度について説明を聞いてみてみたいとの要望があり、成年後見推進担当が作成した利用者向けパンフレット「成年後見制度ってなんだろう?」をもとに成年後見制度説明会を令和8年3月に実施。 ○各園における利用者の通帳管理について年2回の調査を実施。	B		

(2) かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プランに掲載されていない事業等

園等	番号	具体的な取組	令和6年度	令和7年度	取組状況	評価	備考
1	秦野精華園・希望の丘はだの経営基盤の安定化	① 秦野精華園就労移行支援事業の事業廃止に向けた対応			○関係機関及び支援学校に今後の当園の就労移行支援事業を希望される方について、意向確認を行った。また、令和7年10月より就労選抜支援事業が開始されるため、市内の事業所の開設状況などの情報収集を行った。	B	
		② 希望の丘はだの女性コミュニティにおける重度利用者への受け入れ開始			○厚木・愛名の利用者・職員の希望の丘はだへの見学来所を受け入れ、厚木・愛名利用者受け入れを推進する。対象となる利用者・ご家族に安心感を持っていただけたような支援体制の構築が重要と考え、5月より非常勤要員勤務者1名を配置し、10月には、厚木精華園より非常勤職員の異動配置を実施。令和8年1月より非常勤要員勤務者1名を配置した。職員1名より、早番2名遅番2名で食事準備を中心に支援を厚くする。令和8年2月厚木精華園より重度利用者1名を受け入れるが、日中活動については当面ひびいたの活動へ参加で対応。		
		③ 希望の丘はだの昼間サービス(日中活動・作業種)の見直しと喫茶運営の見直し			○ラボールサービスの喫茶部門については、4月よりバン・販売とインターネットコーナーとしてセルフ方式での運営に切り替えた。女性重度利用者の受け入れに向けて軽作業及び動的プログラムの導入を検討。		
2	地域生活移行支援の推進及び通過型施設運営の実施	① グループホーム担当課や他法人との協働によるホーム生活体験プログラムの定期実施			○希望の丘はだでは6月に2名(男女)、9月に1名(男性)の他法人グループホーム体験利用を調整し、3名が地域生活へ移行した。令和8年2月～3月にかけて2名(男女)が他法人グループホームの体験利用を2か所ずつ行い、それぞれ希望したグループホーム生活を令和8年4月1日付けで開始した。当法人グループホームについては、老朽化によるホーム移転が10月までに終了し、11月より希望の丘はだの女性3名と在宅の卒園生1名、ひまわり女性1名が2泊3日の体験プログラムを行った。	B	
		② 地域生活を想定した単独外出の推進、休日・余暇活動時の地元クラブ等への参加支援			○各自主持した単独外出を推進している。地域のスポーツジム(大根公園内)の活用については距離的な課題から令和7年度は自宅でのトレーニングへ切り替えている。		
		③ 生活マナー講座・携帯パソコン講座等地域生活を想定した生活講座の再開と定期開催			○秦野精華園入所者3名が有償ヘルパーを利用し、個別ニーズに合わせて定期的な外出を実施した。希望の丘はだの各居室のWi-Fi環境の整備が終了、併せてタブレット・携帯機器の安全使用に向けたライブ講座(マナー講座)を3回開催し、利用者の順法意識やマナー養成を支援。新規入所者に向けては、個別にライブ講座を実施している。		
		④ 卒園者による就労活動経験報告会、グループホーム生活状況報告会の開催定着			○主任会の取り組みとして12月21日入所利用者・グループホーム交流会を希望の丘交流ホールで開催し、希望の入所利用者7名と秦野精華園GH利用者7名がグループホームでの生活を中心に質疑応答、リポートワークで交流を深めた。		
3	地域生活支援の充実	① 契約満了に伴うホーム移転計画の実施と入居者、支援体制の再編			○令和8年3月に契約満了を迎えるドリームハウス(利用者5名)については、平塚市真田地区に令和7年10月1日付けで移転した。移転に併せて、県より指摘のあった実態に併せた地区編成を実施し、平塚市内3ホーム、秦野市内7ホーム・サテライト3カ所への地区編成・支援体制の再編を実施した。令和8年4月より地域生活支援課として平塚地区グループホーム・秦野地区グループホームの支援体制となった。	A	
		② サテライト型ホームの支援体制の継続			○サテライト型ホーム3カ所については3名の方が順調に一人暮らしを満喫している。		
4	在宅等地域生活継続支援としての生活介護事業の展開	① 機械浴等入浴サービスの提供、送迎支援の充実			○個別に送迎が必要ケースについては臨機応変な対応を行った。前期は1名の方を5月から個別の送迎の対応を行った。	C	
		② 施設入所支援との協力体制によるレスパイト的短期入所の利用促進と緊急時対応の際の関係機関との連携強化			○機械浴サービスについては新規に利用したい相談・見学対応を1件及び支援学校の3年生の実習の受け入れを1件行った。		
		③ 居宅・相談支援との連携による休日余暇活動支援の利用推進			○機械浴での入浴について、ご家族の要望を受け入浴予定日ではない日でも工夫し入浴サービスを提供した。 ○短期入所先で安全に入浴することが難しい利用者の方に対し、短期入所期間中に機械浴による入浴サービスを提供した。 ○家族の緊急時の短期入所を1件調整したが利用には至らなかった。引き続き緊急時の受け入れについて入所部門と情報共有を行っていく。 ○短期入所の制度を知ってもらう目的で主任者を中心に短期入所についてのリーフレットを作成し、通所利用者、御家族を中心に配布、説明を行った。 ○サービスの担い手を増やすため12月にガイドヘルパー養成研修を3年ぶりに開催し、16名の受講者があったが、ヘルパー登録には至らなかった。		

秦野精華園・希望の丘はだの

(2) かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プランに掲載されていない事業等

園等	番号	具体的な取組	令和6年度	令和7年度	取組状況	評価	備考
栗野精華園・希望の丘はだの	5	専門性を持った職員育成 ①外部研修への職員派遣 ②他法人への視察 ③資格取得に向けた勉強会の実施	↑	↑	○支援部長が近隣施設へ「知的障害児者への理解」というテーマで講演した。 ○チャレンジャー生活介護事業では、サポート事業を活用し、年間を通じてスヌーズレンの専門性向上に取り組んだ。導入に際しては、まず職員3名がスヌーズレンセミナーに参加し、得た知識を園内で共有した。他法人の先進的な実践を学ぶため3施設を視察し、自事業に取り入れられる手法を検討した。その成果として、専用のスヌーズレン室を整備し、日々の支援へと本格的に活用する体制を整えた。 ○就労支援事業の運営を見据えて職員に資格を取得するための研修に申し込みを行ったが定員以上の申し込みにより参加できなかった。研修会に担当部署の職員が参加した。 ○福祉利用者に関する研修会を実施した。 ○強度行動障害者研修(実践)に2名参加した。	C	
	1	県立障害者支援施設の方向性ビジョンへの対応 ①民間移譲後の厚木精華園のビジョンの検討 ②中高齢者の知的障がい者の生活基盤の検討 ③食事の直営継続の検討 ④持続可能な経営の検討	↑	↑	○法人・厚木精華園での民間移譲後のビジョン検討を随時開催した。 ○厚木精華園の民間移譲に向けた地域との勉強会への参加。(栗主催)【2回開催】 ○地域移行を含め、高齢者施設・GHなどの居住環境説明・現時点での意向確認を入所全利用者に実施した。移行にはGHでの昼食体験や宿泊体験を実施。日中の過ごし方の充実として、外部事業所への通所や地域交流の場への参加、豊橋連携の取組み等を実施した。また、より適した居住環境整備による課再編成を実施した。【特養:見学5施設・18名、GH:見学28名・昼食体験16名・宿泊体験7名、市内事業所見学2名他】 ○食事の直営継続が困難と判断し、令和8年4月より業者委託とした。 ○事業ごと個別検討に着手し、調理業務の業者委託・職員定数減に取組んだ。	B	生活基盤移行実績 厚木精華園GH:1名 市内日中支援型GH:1名 法人内入所施設:1名
	2	当事者目線による意思決定支援の推進 ①エビデンスに基づいた個別支援計画の作成と支援の実践 ②当事者目線に立った意思決定支援の継続的な推進 ③利用者の意思を反映した個別支援計画の策定と実施 ④利用者の意思を汲みとるための知識・技術を獲得するための研修 ⑤利用者自治会の活動に対する支援の強化 ⑥利用者が園運営に参画するための取組み	↑	↑	○全利用者のヒアリングシートを作成、個人記録から利用者の意思表出となるエピソード等を抽出し、ヒアリングシートへ反映。モニタリング会議で利用者の意向を確認し個別支援計画を作成した。計画に基づき支援を実施した。 ○利用者一人ひとりの望む生活の確認や、日々の生活の中で好きなことや楽しみを増やせるよう、見学や体験等を積極的に実施した。 ○言葉だけでなく表情や行動等、一人ひとりの意思表出をキャッチし、個別支援支援計画へ反映した。 ○言葉だけでない情報についてプロジェクタ内で意向の確認方法や利用者が理解しやすい情報提供の方法等について情報共有を図り、各課で実践した。 ○毎月開催の利用者自治会をZOOM開催。大型画面テレビの活用により、顔の見える環境を整備し、発言のしやすい環境とした。 ○毎月開催の利用者自治会代表が出席し、運営に関する意見を伺った。また、虐待防止委員会にも出席し、虐待防止の取組みについて意見を伺った。	B	
	1	統合したあつあい相談支援事業所の充実強化等 ①相談支援専門員キャリアアップのための職種別研修の実施 ②相談支援のための人材育成システムの検討 ③厚木市地域防災拠点事業としての対応の実施(ここから)	↑	↑	○相談支援に関する研修の受講を進めた。主任相談支援専門員4名、相談支援従事者現任研修修了8名、相談支援従事者初任研修修了2名、事業所連絡会等で事例検討研修実施した。 ○将来を見据えた登用、専門的スキル習得、プロフェッショナルとして活躍できるシステムの構築を検討している。バーンアウトへの取組みの充実を図っている。 ○厚木市地域サポート事業補助金(障がい者理解促進)と保存食、災害時トイレ、ヘルプ等購入し災害時に対応できるように備えている。	B	
愛名やまゆり園	2	入所利用者の地域移行の場の整備等(法人改革・愛名改善等実行プランの再掲)	↑	↑			
		①かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プランの遂行 ②建物・設備等の修繕、改築等に併う神奈川県との協力、連携。利用者がより暮らしやすい生活環境づくり、再整備に向けた県との協議	↑	↑	○介護サービス包括支援型グループホームを1棟、開設準備を進め、令和8年8月に開設予定。女性入所利用者5名があつあいなホームへ移行予定。 ○令和7年8月利用者の生活環境整備のための計画案を策定。利用者の地域移行に伴い、女性寮をワゴンフロア一化し、個室化を進める方向で令和8年度に県と協議を行う予定。園の再整備について県からの話しはない。	C	

(2) かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プランに掲載されていない事業等

園等	番号	具体的な取組	令和6年度	令和7年度	取組状況	評価	備考
	1	次期指定管理を見据えた運営 ①県へ提出した指定管理者の事業計画書の実行 ②園運営の安定化と支援サービスの向上 ③次期の指定管理を見据えた運営と必要な検討・準備	↑ ↑ ↑	↑ ↑ ↑	○当園は県立の障害者支援施設であることをしっかりと認識し、県立施設に求められる役割を果たすことと大切だと考え、県へ提出した事業計画書の実行と園運営の安定化、支援サービスの向上に努めた。令和5年度から始まった第4期指定管理期間(5年間、9年度末まで)のうち3年が経過。県は「県立障害者支援施設の方向性ビジョン」を策定し、当園については引き続き方向性を検討しながら、令和8年中には方向性を示すとしている。次期の指定管理については、指定管理による運営が継続されることを想定し、次期の指定管理者を見据えた準備を進める。	B	
	2	当事者目線による意思決定支援の推進 ①当事者目線による意思決定支援の継続的な推進 ②やまゆりサポーター事業の開始に向けた準備 ③利用者自治会「ピザの会」の活動支援と利用者の意見を図るに反映	↑ ↑ ↑	↑ ↑ ↑	○意思決定支援については、手掛かりシート(ヒアリングシート)を用いて、誕生から当園を利用するまでの情報をまとめたものを作成し、引継いでいくことで現在の意思決定の権限とした。また、個別支援計画の見直しにはこの手掛かりシートを参照し、更新を行いつつながら次期支援目標の作成の参考とした。意思決定支援に関する嗜好の記録の抽出及び蓄積を意思決定支援推進担当が実施し、まとめたものを担当者に共有し、本人の意思の推測についての権限とした。 ○やまゆりサポーターについては、地域福祉との連携による意思決定支援の権利擁護支援として、フオロワーを担っていただきたき9月から本格実施した。 ○ピザの会では、利用者への情報提供を行いつつながら、ご意見を伺った。また、利用者の意見を園運営に反映するため、利用者に園の運営会議や虐待防止委員会に参加いただき貴重なご意見を伺った。その他、園長室に少人数の利用者をお誘いして思いや願いを直接伺う園長との茶話会を適宜開催した。	A	
	3	地域生活移行の推進と入所施設の機能の分散化 ①地域生活移行に向けた支援の推進 ②利用者の望む生活や地域生活移行を進める「チャレンジ活動」の充実 ③生活介護事業の従たる事業所の運営開始	↑ ↑ ↑	↑ ↑ ↑	○本人の望む暮らしに関する移行の確認では、意向確認の会議として、サービス担当者会議を定期的(最低でも1年に1度)に開催した。また、地域移行に関する支援段階マニュアルを作成し、半期に一度、それに照らし合わせ各利用者一人ひとりの支援の見直しを担当者及びサービス管理責任者が行い、その結果を運営会議にて全体共有を行った。サービス担当者会議実績は26名実施した。 ○利用者の将来の地域生活移行を見据え、また、入所施設機能の質的な昼夜分離を進めるため、入所されている利用者10名が外部の生活介護事業所等を利用した。そして、ご本人の望む生活や地域生活移行を進めるため、グループホームでの生活や通所事業所等での作業活動を体験するなど、利用者が地域に出て地域のみなさんとの交流を重ねることを目的とした「チャレンジ活動」に取り組んだ。 ＜主な通所先＞ ・法人運営(ファンファン、マープリングハウス、そよかせ) ・他法人事業所(ワークやまのべ、ほのほ、りずむ) ・「チャレンジ活動」の主な内容 ・「外部資源の見学体験等」 グループホーム体験見学:7回、グループホーム体験:8回、生活介護事業所見学:5回 生活介護事業所体験:8回、就労B事業所見学:1回、就労B事業所体験:2回 入所施設(生活訓練)体験:1回、入所施設(生活訓練)体験:1回、就労体験:11回 ・「第三者との関わり」 やまゆりフオロワー(月に一回の面会):17回、田園調布学園大学との交流:4回 鎌倉女子大学との交流:1回 ・「社会参加」 湖上フェエへの参加:6回、津久井支援学校との相模湖公園花植え:1回 千木良地区運動会への参加:1回 ○6月に若柳地区で園生活介護事業の従たる事業所「オレンジハウス」の運営を開始した。利用者が様々な経験を通して地域や多くの人の繋がりを待つことが、生活を豊かにし、本人の可能性を最大限に引き出すことに繋がると、これから徐々に従たる事業所での活動の充実を図る。	A	

津久井やまゆり園

(2) かながわ共同会法人改革・愛名改善等実行プランに掲載されていない事業等

園等番号	具体的な取組	令和6年度	令和7年度	取組状況	評価	備考
4	地域の展開する直営施設の再整備					
	①相模原市障害者等日中短期入所事業の運営開始(再開)		↑	○昨年度未で休止した若柳地区放課後等デイサービス事業所の利用者の受け皿として、4月より、相模原市障害者等日中短期入所事業を開始(再開)した。津久井支援学校等に通う児童・生徒の放課後の一時的な受け皿として、夏休み期間中には午前から夕方まで一日のあそびを行うことで、在園等で生活する障がい者等における活動の場を確保するとともに、地域における福祉サービスの向上に繋がった。	B	
	②障害者地域活動支援センター「マープリングハウス」の運営引継		↑	○昨年度未で他法人が障害者地域活動支援センターとして運営した「マープリングハウス」について、4月より、当法人が運営する寸沢地区日中活動支援センター「ファンファン」の従たる事業所(生活介護)として事業を引継ぎ運営を開始した。		
	③利用者の地域生活移行の受け皿となる新規グループホームの設置検討		↑	○利用者の地域生活移行の受け皿となる新規グループホームの設置については、少子高齢化により人材不足が深刻化し、職員の確保が非常に困難な状況にあるため、設置に向けた検討は進んでいない。		
5	「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発、福祉教育への貢献					
	①福祉従事者、見学者の積極的な受け入れ、講演会等の実施		↑	○「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発を図るため、園に設置された「鎮魂のモニュメント」を活用しながら、見学者を積極的に受け入れることで、障がい者理由とする差別の解消の推進や、人権擁護等の啓発活動に取り組んだ。 ＜施設見学＞ ・神奈川県職員選択研修(1回) ・県福祉職新採用職員研修(5回) ・民生児童委員等の団体や事業所職員による見学(22回) ・法人フレックスマン研修【新採用職員】(1回) ＜園長による外部での講演＞ ・相模原市職員向け研修会他(3回)	A	
	②相模原市教育委員会、小中学校等との連携、福祉教育への貢献		↑	○事件から10年目を迎えるための検討・準備については、神奈川県知的障害施設団体連合会が開催してきた「やまゆりの日講演会」に、かながわ共同会が開催してきた「人権フォーラム」を合同開催として実施するための検討を行った。また、令和8年度事件追悼式のあり方について、県共生推進本部室との意見交換を行った。		
	③事件10年目を迎えるための検討・準備		↑			

津久井やまゆり園

## 4 基本施策の取組状況

### (1) 法人全体

#### ①理事会・評議員会の開催状況

回	評		会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
	理	評				
1			令和7年5月臨時理事会（その1）	令和7年5月22日 13:00～14:00	秦野精華園 会議室 （オンライン併用）	<報告事項> 1 第三者委員会中間報告書に伴う監査の実施結果 2 障害者福祉施設従事者等による虐待に関する調査結果等
2			令和7年5月臨時理事会（その2）	令和7年5月27日 13:00～13:40	秦野精華園 会議室 （オンライン併用）	<報告事項> 1 監査の実施結果に基づく行政処分 <決議事項> 1 神奈川県指令障サ第1264号における新たな改善計画
3			令和7年6月理事会	令和7年6月5日 10:00～12:10	希望の丘はだの 地域交流ホール （オンライン併用）	<報告事項> 1 理事長、常務理事及び支援改善担当理事の職務執行状況 2 身体拘束の実施と改善取組状況 3 法人改革・愛名改善等実行プランの取組状況 4 令和7年度福祉・介護職員等処遇改善加算等の算定による賃金改善 5 厚木精華園、愛名やまゆり園及び津久井やまゆり園における指定管理料の返還 <決議事項> 1 令和6年度事業報告（案） 2 令和6年度決算（案）及び監査報告 3 評議員選任・解任委員の選任及び評議員選任・解任委員会の開催 4 評議員候補者の推薦 5 役員候補者の提案 6 会計監査人の再任及び報酬等

回		会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
理	評				
					7 諸規程の一部改正 8 令和7年6月定時評議員会の開催
	1	令和7年6月定時評議員会	令和7年6月23日 15:00～17:00	秦野精華園 体育館 (オンライン併用)	<p>&lt;報告事項&gt;</p> 1 令和6年度事業報告(案) 2 令和6年度決算(案)及び監査報告 3 監査の実施結果に基づく行政処分 4 法人改革・愛名改善等実行プランの取組状況 5 身体拘束の実施と改善取組状況 6 令和7年度福祉・介護職員等処遇改善加算等の算定による賃金改善 7 厚木精華園、愛名やまゆり園及び津久井やまゆり園における指定管理料の返還 8 新・評議員の選任結果 <p>&lt;決議事項&gt;</p> 1 役員(監事)の選任
4		令和7年6月臨時理事会	令和7年6月23日 17:15～17:30	秦野精華園 体育館 (オンライン併用)	<p>&lt;決議事項&gt;</p> 1 理事長、常務理事及び支援改善担当理事の選定 2 評議員選任・解任委員の選任
5		令和7年9月臨時理事会	令和7年9月19日 14:00～14:35	希望の丘はだの 地域交流ホール (オンライン併用)	<p>&lt;決議事項&gt;</p> 1 諸規程の一部改正
6		令和7年11月理事会	令和7年11月4日 15:00～17:00	希望の丘はだの 地域交流ホール (オンライン併用)	<p>&lt;報告事項&gt;</p> 1 理事長、常務理事及び支援改善担当理事の職務執行状況 2 令和7年度事業計画の上半期の取組状況 3 厚木精華園の民間法人への移譲 4 県指導監の結果並びに指摘事項に係る改善状況 5 かながわ共同会人権フォーラム2025開催

回		会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
理	評				
					<p>&lt;決議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 当事者目線の障がい福祉推進等を踏まえた法人理念の見直し</li> <li>2 秦野精華園就労移行支援事業の廃止</li> <li>3 愛名やまゆり園飯山南地区生活介護事業所の開設</li> <li>4 諸規程の一部改正</li> <li>5 令和7年度資金収支第1次補正予算(案)</li> <li>6 愛名やまゆり園あいなホームの増設等</li> <li>7 役員賠償責任保険契約の締結</li> <li>8 令和8年11月評議員会の開催</li> </ol>
	2	令和7年11月評議員会	令和7年11月28日 15:00～17:15	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和7年度事業計画の上半期の取組状況</li> <li>2 厚木精華園の民間法人への移譲</li> <li>3 県指導監査の結果並びにご指摘事項に係る改善状況</li> <li>4 かながわ共同会人権フォーラム2025の開催</li> </ol> <p>&lt;決議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 当事者目線の障がい福祉推進等を踏まえた法人理念の見直し</li> <li>2 秦野精華園就労移行支援事業の廃止</li> <li>3 愛名やまゆり園飯山南地区生活介護事業所の開設</li> <li>4 令和7年度資金収支第1次補正予算(案)</li> <li>5 愛名やまゆり園あいなホームの増設等</li> </ol>
7		令和8年2月臨時理事会	令和8年2月5日 15:55～16:30	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<p>&lt;決議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 愛名やまゆり園日中支援型グループホーム等に係る合意書締結</li> </ol>
8		令和8年3月理事会	令和8年3月5日 14:55～16:55	希望の丘はだの 地域交流ホール	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 理事長、常務理事及び支援改善</li> </ol>

回		会議名	日時	場所	決議事項・協議事項
理	評				
				(オンライン併用)	担当理事の職務執行状況 2 法人改革・愛名改善等実行プランの取組状況 3 障害福祉従事者処遇改善緊急支援事業による賃金改善 <決議事項> 1 令和7年度資金収支第2次補正予算(案) 2 令和8年度事業計画(案)及び令和8年度資金収支当初予算(案) 3 役員候補者の提案 4 諸規程の一部改正(その1) 5 諸規程の一部改正(その2) 6 令和8年3月評議員会の開催
	3	令和8年3月評議員会	令和7年3月23日 10:00~12:00	秦野精華園 会議室 (オンライン併用)	<報告事項> 1 法人改革・愛名改善等実行プランの取組状況 <決議事項> 1 令和7年度資金収支第2次補正予算(案) 2 令和8年度事業計画(案)及び令和8年度資金収支当初予算(案) 3 役員の選任

## (2) 各園

### ①運営実績

#### ア 秦野精華園・希望の丘はだの

##### (ア) 法人直営事業

a-1 運営実績 (秦野精華園) (名)

区分		令和6年度	令和7年度	
障害者支援施設	施設入所支援	定員	60	60
		延べ人数	20,620	21,194
		稼働率	94%	96.8%
	生活介護	定員	60	60
		延べ人数	15,332	15,469
		稼働率	95%	95.8%
	短期入所	定員	8	8
		延べ人数	811	814
		稼働率	27.8%	27.8%
チャレンジャー	就労継続支援B型	定員	20	20
		延べ人数	5,763	5,458
	就労定着支援	定員	-	-
		延べ人数	232	174
	生活介護	定員	14	14
		延べ人数	3038	3168
	就労移行支援	定員	6	6
		延べ人数	1222	961

a-2 運営実績 (希望の丘はだの) (名)

区分		令和6年度	令和7年度	
障害者支援施設	施設入所支援	定員	40	40
		延べ人数	10,192	10,216
		稼働率	69.8%	69.8%
	生活介護	定員	32	32
		延べ人数	6,934	6,603
		稼働率	80.5%	76.7%
	自立訓練(生活)	定員	8	8
		延べ人数	844	1,072
		稼働率	25.3%	49.8%
	就労移行支援	定員		
		延べ人数		
		稼働率		
短期入所	定員	2	2	
	延べ人数	631	717	
	稼働率	86.4%	98.2%	

b-1 障害支援区分 (秦野精華園) (名)

区分	非	1	2	3	4	5	6	計
施設入所支援	0	0	0	0	10	22	28	60
生活介護	0	0	0	0	10	22	28	60
就労継続B型	5	0	3	5	6	4	0	23
就労移行支援	1	0	1	0	0	0	0	2
生活介護(チャレ)	0	0	1	0	2	5	10	18

b-2 障害支援区分 (希望の丘はだの) (名)

区分	非	1	2	3	4	5	6	計
施設入所支援	0	0	0	0	23	7	1	31
生活介護	0	0	0	0	20	7	1	28
生活訓練	0	0	0	1	3	0	0	4

c グループホーム入居者 (12ヶ所) (名)

区分	入居者数	平均年齢	1人あたり平均			日中活動			入所前		
			居室面積(畳)	利用料(食費等含月額)	収入(年金含月額)	園内通所	園外通所	就労	自施設	在宅	その他
男性	43	45.5	8.5	57,453	178,119	9	7	27	18	12	13
女性	27	36.0	9.3	56,914	157,231	3	7	17	16	8	3
計	70	40.7	8.9	57,183	167,675	12	14	44	34	20	16

※『入居者数』について、令和8年3月31日現在

※『収入』について、男性就労2名+就B1名で計算 女性就労1名就B1名で計算 (通帳返却進んでいる為正確なサンプル取れず)

d 相談支援利用件数 (件)

区分	令和6年度	令和7年度	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他
障がい者	803	667	26	0	613	6	22	0	0
障がい児	40	10	0	0	10	0	0	0	0
計	843	677	26	0	623	6	22	0	0

※重複障がい者の相談は、それぞれの障害ごとに重複記載。

e 相談方法

(件)

令和6年度	令和7年度	訪問	来所	電話	メール	ケア会議	その他
843	677	241	47	255	54	33	47

f ひまわり

(名)

区分		令和6年度	令和7年度
生活介護	定員	20	20
	延べ人数	5,117	5,222
地域活動支援センター	定員	10	10
	延べ人数	995	405

(名)

区分		延べ人数		
		令和6年度	令和7年度	
日中一時支援	児童	男性	115	136
		女性	54	0
		計	169	136
	成人	男性	181	174
		女性	91	0
		計	272	174

g ホームヘルプサービス等

(名)

区分	令和6年度				令和7年度					
	延べ人数		時間		契約人数		延べ人数		時間	
	児童	成人	児童	成人	児童	成人	児童	成人	児童	成人
家事援助	0	128	0	184	0	2	0	121	0	196
身体介護	0	607	0	941	0	10	0	530	0	746
行動援護	105	1,590	139	3,465	0	14	0	1,389	0	3,076
移動支援	403	2,912	403	11,111	3	93	364	3,030	365	11,961
有償運送	414	2,442	3,777	39,668			364	2,431	3,281	41,366
計	508	5,237	542	15,701	3	119	364	5,070	365	15,979

※有償運送の時間欄の単位は「km」、各項目の計には含まず。

h サービス等利用計画作成

(件)

令和6年度	令和7年度	秦野市	伊勢原市	平塚市	他市町村
154	153	116	14	0	23

i 就労援助活動実績

(名)

区分	令和6年度	令和7年度
実習	6	11
就労	6	6
離職	2	0

(イ) その他

a 障がい者雇用 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
男性	3	3
女性	2	2
計	5	5

b 実習生受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
実人員	17	16

※ひまわり含む。

d 見学者受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	359	204

※ひまわり、ひびた含む。

c ボランティア受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	747	691

※ひまわり、ひびた含む。

e 支援学校実習生受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	19	16

## イ 厚木精華園

### (ア) 指定管理事業

#### a 運営実績 (名)

区分		令和6年度	令和7年度
障害者 支援施設	施設入所支援	定員	110
		延べ人数	31,625
		稼働率	78.8%
	生活介護	定員	140
		延べ人数	25,590
		稼働率	50.1%
	短期入所	定員	2
		延べ人数	439
		稼働率	60.1%

※短期入所は空床型の実施を含む。

#### b 障害支援区分 (名)

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
施設入所	0	0	0	9	21	49	79
生活介護	0	0	1	17	28	56	102

### (イ) 法人直営事業

#### a グループホーム入居者 (6ヶ所) (名)

区分	入居者数	平均年齢	1人あたり平均			日中活動			入所前		
			居室面積 (畳)	利用料 (食費含月額)	収入 (年金含月額)	園内通所	園外通所	就労	自施設	在宅	その他
男性	12	60.0	6	67,225	80,334	5	9	0	3	8	2
女性	11	74.6	6	70,568	81,436	8	4	0	2	3	6
計	23	66.11	6	68,896	80,885	13	13	0	5	11	8

※重複者あり

#### b 厚木身体障害者等生活介護事業所 (名)

区分		令和6年度	令和7年度
生活介護	定員	20	20
	延べ人数	2,504	2,523

### (ウ) その他

#### a 障がい者雇用 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
男性	5	3
女性	0	0
計	5	3

#### b 実習生受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
実人員	9	3

#### c ボランティア受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	148	97

#### d 見学者受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	11	11

#### e 養護学校実習生受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	1	1

ウ 愛名やまゆり園

(ア) 指定管理事業

a 運営実績 (名)

区分		令和6年度	令和7年度
障害者 支援施設	施設入所支援	定員	100
		延べ人数	34,208
		稼働率	93.7%
	生活介護	定員	130
		延べ人数	31,373
		稼働率	89.7%
短期入所	定員	20	
	延べ人数	2,949	
	稼働率	40.4%	

b 障害支援区分 (名)

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
施設入所	0	0	0	0	8	81	89
生活介護	0	0	0	0	17	104	121

(イ) 法人直営事業

a グループホーム入居者 (4ヶ所) (名)

区分	入居者数	平均年齢	1人あたり平均			日中活動			入所前		
			居室面積 (畳)	利用料 (食費含月額)	収入 (年金含月額)	園内通所	園外通所	就労	自施設	在宅	その他
男性	16	57.0	6	74,600	83,938	6	9	0	9	7	0
女性	8	52.0	6	74,600	76,500	2	6	0	2	5	1
計	24	55.3	6	74,600	81,458	8	15	0	11	12	1

※重複者あり

b 相談支援利用件数 (件)

区分	令和6年度	令和7年度	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他
障がい者	1,058	918	114	8	328	334	78	7	49
障がい児	212	159	17	11	74	5	29	0	23
計	1,270	1,077	131	19	402	339	107	7	72

※重複障がい者の相談は、それぞれの障害ごとに重複記載。

c 相談方法 (件)

令和6年度	令和7年度	訪問	来所	電話	メール	ケア会議	その他
13,318	13,803	1,138	1,273	8,939	932	279	1,242

※相談方法は重複記載あり。

d 飯山地区日中活動支援センター (名)

区分		令和6年度	令和7年度
生活介護	定員	20	20
	延べ人数	2,949	2,784
日中一時支援事業	定員	10	10
	延べ人数	370	351

e 就労継続支援B型事業所しらゆり (名)

区分		R5年度	R6年度
就労継続支援B型	定員	20	20
	延べ人数	4,355	4,043

f 愛川町指定生活介護事業所「かえでの家」 (名)

区分		延べ人数		
		令和6年度	令和7年度	
生活介護	定員	20	20	
	延べ人数	3,167	3,220	
日中一時支援	児童	男性	19	80
		女性	0	2
		計	19	82

g サービス等利用計画作成 (件)

令和6年度	令和7年度	厚木市	愛川町	清川村	他市町村
926	906	769	51	18	68

h 愛川町児童発達支援センター「ひまわりの家」 (名)

区分		令和6年度	令和7年度
児童発達支援	定員	20	20
	延べ人数	2,343	2,375
保育所等訪問介護	延べ人数	8	13

(ウ) その他

a 障がい者雇用 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
男性	2	3
女性	3	5
計	5	8

b 実習生受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
実人員	8	9

c ボランティア受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	234	557

d 見学者受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	30	24

e 養護学校実習生受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	3	1

エ 津久井やまゆり園

(ア) 指定管理事業

a 運営実績 (名)

区分		令和6年度	令和7年度	
障害者 支援施設	施設入所支援	定員	60	60
		延べ人数	19,955	20,514
		稼働率	91.1%	93.7%
	生活介護	定員	66	66
		延べ人数	14,035	14,374
		稼働率	79.9%	82.5%
	短期入所	定員	6	6
		延べ人数	1,667	1,665
		稼働率	76.1%	76.0%
	日中短期	定員	—	10
		延べ人数	—	1,052
		稼働率	—	43.8%

令和6年度末に若柳地区児童放課後等デイサービス事業終了し、  
日中短期(日中一時)事業として開始

b 障害支援区分 (名)

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
施設入所	0	0	0	1	6	52	59
生活介護	0	0	0	1	8	58	67

c 相談支援利用件数 (件)

区分	令和6年度	令和7年度	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他
障がい者	434	578	6	0	380	149	38	0	5
障がい児	13	18	0	0	14	0	4	0	0
計	447	596	6	0	400	149	9	0	0

※重複障がいの者の相談は、それぞれの障害ごとに重複記載。

d 相談方法 (件)

令和6年度	令和7年度	訪問	来所	電話	メール	ケア会議	その他
447	501	22	62	328	19	70	0

※相談方法は重複記載あり。

(イ) 法人直営事業

a グループホーム入居者 (5ヶ所) (名)

区分	入居者数	平均年齢	1人あたり平均			日中活動			入所前		
			居室面積 (畳)	利用料 (食費含月額)	収入 (年金含月額)	園内通所	園外通所	就労	自施設	在宅	その他
男性	20	55.5	6	67,952	77,569	3	22	0	11	9	0
女性	10	56.4	6	71,100	75,765	1	11	0	5	5	0
計	30	55.9	6	69,526	77,118	4	33	0	16	14	0

※重複者あり

b 相談支援利用件数 (ライフ) (件)

令和6年度	令和7年度	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他
796	776	6	0	718	26	0	0	26

※重複障がいの者の相談は、それぞれの障害ごとに重複記載。

c 相談方法 (件)

令和6年度	令和7年度	訪問	来所	電話	メール	ケア会議	その他
772	696	598	25	5	0	66	2

※相談方法は重複記載あり。

d 寸沢嵐地区日中活動支援センター (名)

区分		令和6年度	令和7年度
生活介護	定員	20	30
	延べ人数	4,415	6,096

e 根小屋地区日中活動支援センター (名)

区分		令和6年度	令和7年度
生活介護	定員	20	20
	延べ人数	4,302	4,193

f サービス等利用計画作成 (件)

令和6年度	令和7年度	相模原市	県域	横浜市	川崎市	県外
503	447	346	57	19	20	5

(ウ) その他

a 障がい者雇用 (名)

区分		令和6年度	令和7年度
障がい者雇用	男性	1	0
	女性	1	0
	計	2	0

b 実習生受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
実人員	13	8

令和6年度 (ファンファン:5) (そよかぜ:0) (みらい:0)  
令和7年度 (ファンファン:1) (そよかぜ:0)

c ボランティア受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	202	153

令和6年度 (ファンファン:53) (そよかぜ:10) (みらい:12)  
令和7年度 (ファンファン:12) (そよかぜ:11)

d 見学者受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	1,192	1,149

令和6年度 (GH:0) (ファンファン:27) (そよかぜ:8)  
令和7年度 (GH:0) (ファンファン:0) (そよかぜ:6)

e 支援学校実習生受入 (名)

区分	令和6年度	令和7年度
延べ人数	0	18

令和6年度 (ファンファン:0) (そよかぜ:0) (みらい:0)  
令和7年度 (ファンファン:18) (そよかぜ:0)

## ②施設・設備整備等

### ア 秦野精華園

法人施行
地域サービス棟地下ビット溜水排出工事
居住棟エレベーター修繕
薬液注入装置レベルセンサー修繕
地域サービス棟地下ビット漏水補修
ヒーター修繕
照明改修工事
居住棟1階トイレ個室扉修繕
配膳車修繕

### イ 希望の丘はだの

法人施行
排水管高圧洗浄除去
居住棟2階浴室蛇口交換工事

### ウ 厚木精華園

法人施行	県施工
生活1課プラド寮衣類乾燥機 部品交換	生活1課LED照明交換工事
生活1課コンセント・リレースイッチ改修	(以下、余白)
生活1課アルコ寮洗面所排水トラップ改修	
生活1課プラド寮トイレ手すり取替工事	
生活1課アルコ寮脱衣場床改修工事	
生活2課フェンテ寮汚物除去機整備	
生活2課 アルミサッシクレセント錠改修	
生活2課薬品室 エアコン交換工事	
生活2課フェンテ寮トイレ男子小便器センサー付フラッシュバルブ改修	
生活2課ガス衣類乾燥機調整	
生活2課ガス衣類乾燥機調整	
生活3課コリーナ寮出入口他鍵6か所摩耗箇所の清掃、調整、交換等の改修	
生活3課コリーナ寮流し台配管交換工事	
生活3課ボスク寮居室電灯スイッチ交換	
生活3課コリーナ寮詰まり除去工事	
生活3課ボスク寮汚物除去機給水栓交換工事	

法人施行	県施工
生活3課ボスク寮浴槽止水栓修理	
管理棟 厨房照明 不点灯箇所の改修工事	
管理棟 厨房回転釜ガスコック修繕	
看護課 心電計 コード交換修理	
日中支援課活動室 火災報知設備発信機修理	
日中支援課機械浴室 機械浴・ストレッチャー背あてマット修理	
日中支援課活動室 ガス衣類乾燥機修理	
非常照明6か所改修工事	
管理棟 2階男性トイレLED照明交換工事	
居住棟 空調機パネル交換工事	

## エ 愛名やまゆり園

法人施行	県施工
消防設備修繕	発電機室扉交換
エアコン更新(理美容室)	注油管修繕
ボイラー修繕	(以下余白)
貯湯槽No.2バルブ交換	
エアコンドレン管修繕(警備員室)	
床下給湯管修繕(居住棟2)	
エアコン室外機修繕(体育館)	
電子錠修理(生活1課)	
スプリンクラーヘッド交換(居住棟2)	
寮出入口ドアフロアヒンジ交換(居住棟1)	
配膳室シャッター修繕(せせらぎ寮)	
液面計修繕	

## オ 津久井やまゆり園

法人施行	県施工
生活2課 はくちょう居室煙感知器	グラウンド周辺の桜の木剪定
厨房棟 ガラリ周辺のタイル落下時の緩衝設置	体育館横、陥没箇所穴埋め
従たる事業所消防設備修繕	(以下余白)
生活3課 リビングのテレビ、時計カバー	
生活1課 すずめ居室窓ガラス交換	
厨房棟地下ガラス交換	
体育館みんなのトイレ水栓変更	

プール機械室配電盤修理	
配膳車 3 台バッテリー交換	
管理棟 男子トイレ壁修繕	
配膳車扉ヒンジ交換	
配膳車 3 台基盤交換	
生活 1 課 すずめ居室窓ガラス交換	
生活 2 課 居室エアコン直流電動機交換	
貯水タンクパイプ破損修繕	
生活 1 課 うぐいす居室壁修繕	
居住棟 1 浴室対応の給湯器ポンプ交換	
生活 3 課ユニット仕切り扉	
生活 3 課居室壁修繕	

### ③人権目標と取組内容

※愛名の改善計画に沿って、上半期に実施した人権自己チェックリストの結果を各園に持ち帰り、委員会等で支援を振り返る材料とした。下半期に実施した2回目の人権自己チェックリストについては、設問の目的を明確にするために、文言、項目を改正し実施した。実施結果を踏まえて重点的に取組みが必要な項目を共有し、各園の委員会でタイムリーな人権目標について策定、追記および検討をした。

### ●人権委員会・虐待防止委員会等の開催

	人権委員会、利用者自治会	虐待防止委員会
法人	人権委員会 4回	—
秦野・希望	人権研修委員会 6回	12回
	利用者自治会（全体役員会） 6回	
厚木	人権委員会 7回	12回
	利用者自治会 12回	
	オンブズマン相談会 10回	
愛名	人権委員会 12回	12回
	利用者自治会 12回	
	オンブズマン相談会 10回	
津久井	あおぞら委員会 6回	4回
	利用者自治会 12回	

### ア 秦野精華園・希望の丘はだの

年月	月間目標	取組内容
令和7年 4月	明るい挨拶、素敵な笑顔で接しましょう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも笑顔でいられるように、毎朝鏡の前で笑顔の練習をしている。</li> <li>・マスクで口元がわからないので、目元の笑顔を気にしている。声も半トーン高くして挨拶している。</li> <li>・「大丈夫ですよ」「頑張っていますね」など、前向きな言葉をかけることを心掛けています。</li> </ul>
5月		
6月	その言葉、丁寧に伝えていますか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に伝えるだけでなく、丁寧に聴くように心がけている。</li> <li>・言葉の丁寧さだけではなく温度感や声の大きさ、抑揚など威圧的に伝えないように心掛けました。</li> <li>・一人一人に合った言葉のトーン、口調、言い方を意識しながらコミュニケーションをとりました。</li> </ul>
7月		

年月	月間目標	取組内容
8月	話しやすい雰囲気を作りましょう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忙しそうだったから・・・と気を遣わせてしまうことがあり、気を付けようと思う。</li> <li>・「〇〇さん、こんにちは！今日はどうされましたか？」と、名前を添えて声をかけることで親しみやすさ、安心感を与えられるように工夫をしている。</li> <li>・日頃から「何かあったらいつでも声かけてくださいね」と日頃から伝えておくことで利用者さんが「話してもいいんだ」と思ってもらえるよう心掛けている。</li> </ul>
9月		
10月	利用者の立場になって考えていますか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族がどう受け止めるかも考えている。自分が家族だったらどうかとも考えたりしている。</li> <li>・その人の立場について考えた時に、自分の思いに固執していないか、他の職員の話聞く。</li> <li>・食事やトイレ支援中、自分本位のペースで支援をしてないか気をつけるようにした。</li> </ul>
11月		
12月	困っている事に気づいて手助けをしましょう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉で伝えられない利用者の思いを汲み取るのが難しい。困ったときのサインに気付くことができるか。</li> <li>・先回りしての声かけが多すぎると利用者さんの質問スキルが身に付かない面もある。特に就職を目指している方にとって質問スキルは大切。障がい特性上、先回りしての声かけが必要な方もいるが、そうでない方には、自分から声をかけてくるまで「待つ」ことも大事にしていきたい。</li> <li>・本人が困っているのか、自分で解決出来るのか見極めるのが難しいと思った。特に話すことが難しい利用者だと「それは困っていない」「やらないで欲しい」と思っている可能性もあるので意思を汲み取るということは、とても難しいし重要なことだと改めて思った。</li> </ul>
令和8年 1月		

年月	月間目標	取組内容
2月	① 利用者に聞かれていませんか？個人情報の取り扱いに気を付けよう ② 適切に情報提供をしていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他利用者のお休みの理由を聞かれることがある。その際には「家の都合のようですよ」と伝えている。</li> <li>・利用者本人にとって必要な情報か考えながら提供する。また情報によっては不安になってしまう利用者もいるので、伝える内容や時期など適切な判断が必要と思われる。</li> <li>・自分の名前が話に入っていることに敏感な利用者もいるため、引継ぎ時など、直接名前を出さずに話すようにしている。</li> </ul>
3月		

## イ 厚木精華園

年月	月間目標	取組内容・意見
令和7年 4月	お互いの良い支援を見つけましょう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援について細かな他職員の違いを報告し合い、良い支援を取り入れた。</li> <li>・互いの支援を見て良い支援を探していく。</li> <li>・相手に伝えるという事は、どうしても角が立つ感じがするので、良い支援を真似て成功したことを引継ぎや日常会話の中で伝える形を取った。コミュニケーションを円滑に回し、互いに気持ち良く仕事が出来た環境づくりに徹した。</li> <li>・良い支援として話し合った内容を、共通認識として実践した結果、うまくいかなかったことを再度、話し合った。</li> </ul>
5月		
6月	丁寧な呼称と丁寧なあいさつから始まる良い関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寮に入る際に挨拶をするだけでなく、廊下等ですれ違う人とも気持ち良く挨拶できるよう明瞭な声を意識した。</li> <li>・利用者さんに丁寧に対応することで、利用者さんの支援も丁寧に取り組むことができ、関係性が良い方向に出来ると感じた。</li> <li>・耳が聞こえづらい方には身振り手振りも交えて伝えている。</li> </ul>
7月		
8月	広げよう好きな事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで好きな事を実践しているが、関係しているような事を新たに行うと笑顔になっていた。</li> <li>・日によって好きなもの（こと）は変わってくるので、その都度本人に聞きながらいくつかの選択肢を</li> </ul>
9月		

年月	月間目標	取組内容・意見
		<p>提示して模索できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事中の様子を見ていると、メニューによっては食べるスピードが異なるように感じた。そこから嗜好などが汲み取れるのではないかと思った。</li> </ul>
10月	皆さんの声に足を止めていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者一人ひとりの話す速さや間の取り方に合わせて対応し、焦らせることなく安心して話せる雰囲気づくりを意識した。これにより、利用者が自発的に思いを伝えようとする姿が見られた。</li> <li>・利用者とのやり取りで得た気づきや発見を、他の職員とも共有するよう心がけた。情報を共有することで、チーム全体で利用者理解を深め、一貫した支援につなげることができた。</li> <li>・利用者から声がかかった時には緊急の用事や他利用者の対応中でない限りは、必ず足を止めて話を聞くようにしている。すぐに対応できない時は、その旨を伝え、用事が終わったら話を聞きに行くようにしている。</li> </ul>
11月		
12月	やってみよう ご本人の好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援をする中で、この方はこれが好きだと決めつけた支援をしている場合もあった。改めてご本人の意向を確認すると知らない一面も見ることが出来た。</li> <li>・好きなことをやっている時の集中している表情や楽しそうに笑っている様子を見ることができて職員側も嬉しさを感じた。</li> <li>・好きな事を更に知ることができた。若い頃は好きだったが、今現在はそうでもないという事もあり得る。その都度、本人に聞いたり、反応を確認していく必要があると感じた。</li> </ul>
令和7年1月		
2月	選ぶ、伝わる、次の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者さんによっては選択肢を多いと混乱してしまった様子で選べないことがあった。2～3種類に絞った方が選ぶことができた。</li> <li>・視覚での選択がとても有効で、各利用者、じっくり画面を見て選択している様子が見られた。買い物などその選択が反映され、希望がかなっているように見えた。</li> </ul>
3月		

年月	月間目標	取組内容・意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方的な支援ではなく、想いが「伝わる」対話を大切にしたい。納得感のある選択を支え、次の支援へ繋げていく。</li> </ul>

## ウ 愛名やまゆり園

年月	月間目標	取組内容
令和7年 4月	丁寧な挨拶、丁寧な対応をしましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な挨拶をすることで、利用者さんからの返答や表情が良いように感じました。挨拶はとても大事なことだと再度、気づくことができました。</li> <li>・相手の距離感や相性なども考慮して、その人に合った丁寧さを意識して支援しました。</li> <li>・利用者の意見を傾聴し、意思の尊重に努めました。</li> </ul>
5月		
6月	利用者の目線に立ち、物事を捉え、生活環境を整えましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分だったらどうか」と捉えるようにしながら支援にあたった。より良い暮らしを送ることができるよう、利用者の身の回りや居室整理など取り組んだ。</li> <li>・日々の支援の中で、利用者の表情や言葉だけでなく、仕草や行動からも気持ちを汲み取るよう意識しました。</li> <li>・我々職員も利用者を取り巻く環境の一つであると捉え、ハード面だけでなく、我々の支援が利用者にとって快適であるよう努めました。</li> </ul>
7月		
8月	いつ出掛けても大丈夫な身だしなみに配慮しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が着て外出しても恥ずかしくない服装を意識したり、洋服が汚れていたり乱れていたら都度着替えたり、着直したりするよう支援を行いました。</li> <li>・髭剃りや髪型などの整容に関して意識して取り組みました。</li> <li>・利用者特性上出来ないこともあるが、あるべき姿勢は忘れず、それを強要せず、ほど良い距離感で配慮しながら声をかけました。現状に満足せず、変わらないという意識で取り組みました。</li> </ul>
9月		
10月	相手が聞いても周りが聞いても気持ちいい声掛けをしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ言葉でも声のトーンや強弱、表情等で相手に与える印象は違ってきます。利用者の特性に合わせて接するよう心掛けました。</li> <li>・利用者が求める声かけや対応が何なのか、思考、想像し、声をかける前に「利用者が求めている声か</li> </ul>
11月		

年月	月間目標	取組内容
		<p>けを考える」ということを日々行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・否定的な言葉をフレーミングで肯定的な言葉に言い換えるよう努めました。</li> </ul>
12月	<p>利用者のペースを大切に！あなたの業務見直してみませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット・にやりほっと記載を共有・充実することで、個々のペースに沿った支援が出来るよう取り組みました。これからも業務の見直しに繋がると良いと思います。</li> <li>・支援する際は焦らず、利用者の生活のリズム、ペースを尊重して支援していきたい。</li> <li>・業務をこなすのではなく、利用者の生活全般を支えることを念頭に置いて業務を行っています。利用者の訴えを見逃さないように職員間で連携して支援をしています。</li> <li>・インカムを導入してから必要な際にはすぐに応援要請が出来るようになったので、利用者を待たせたり、無理に制止したりすることも少なくなってきたと思います。利用者のペース尊重に役立っています。</li> </ul>
令和8年1月		
2月	<p>人権とは何か考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人理念に書いてあることそのものであり、利用者の人権を考える上で基本になることと思います。</li> <li>・それぞれの人の価値観やその場の状況などもあるので、全てにおいて「出来ている」とはいかないが、その中でも「何が出来るのか」と考え、実行に移すことが大事と考え取り組んでいます。</li> <li>・一人ひとりが尊重され、選択でき、安心して生活できる事。また社会的に孤立していないか。</li> </ul>
3月		

## エ 津久井やまゆり園

年月	月間目標	取組内容
令和7年4月	<p>私たちの気持ちに寄り添って話を聞いて欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画作成前の段階でそれぞれに分かりやすい手法で思いを確認した。</li> <li>・利用者さんとしっかり向き合ってお話を傾聴した。</li> <li>・共感を心掛けてお話しを受け止めました。</li> </ul>

5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・傾聴したお話を実現するよう支援した。</li> <li>・伺った意見を支援計画の短期の目標に設定することで聞くだけで終わらない支援を構築した。</li> </ul>
6月	利用者さんの身だしなみ、気候に合わせて配慮していますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温に合わせた衣類を一緒に選ぶことで配慮する事が出来た。</li> <li>・利用者さんの服装を見ながらその日の気温に合わせて1枚着ていただいたり、薄手の衣類を提案するなどの支援を行った。</li> </ul>
7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑い日が多くなってきたので一緒に衣替えを行うことで混乱なく適切な衣類を着ていただけた。</li> <li>・好きな衣類をそろえることで着替えが楽しくなるよう支援した。</li> </ul>
8月	利用者さんの話を真摯に聞き、向き合っていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話しいただいたことは実現するよう支援した。</li> <li>・様々な手法で話を引き出す工夫を行った。</li> <li>・静かな空間や雰囲気などを意識して、利用者さんの話しを聞き取る姿勢で支援をした。</li> </ul>
9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく言葉にできない利用者さんの思いを聞き取る工夫を他の支援者と話し合った。</li> <li>・話しをしっかりと聞いていることを態度や姿勢で示すよう対応した。</li> </ul>
10月	利用者さんのできること、できないことを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者全体で情報を共有できるようできたことやどのような様子であったかを記録に残した。</li> <li>・新しい課題や作業などを一緒に行うことで出来ることや得意なことを発見できた。</li> </ul>
11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事場面など生活の中で出来ることは時間がかかっても見守りながら行ってもらっていた。</li> <li>・出来ることは伸ばしていき、出来ないことは工夫をしながら支援を行った。</li> </ul>
12月	個々の利用者に合わせて、分かりやすく情報を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営会議など事前に情報をお伝えして会議参加時には思いが発言できるよう工夫しました。</li> <li>・現物の提示など出来る限りわかりやすい支援を行い、その結果を情報共有することで混乱の少ない支援を行いました。</li> </ul>
令和8年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や絵カード・企業ロゴなどを使用して本人に必</li> </ul>

1月		<p>要な情報をわかりやすく伝える支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族を交えて本人の話を聞く機会を作ることで話しやすい雰囲気話していただくようにしました。</li> </ul>
2月	私たちの気持ちに寄り添って話を聞いて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中庭や散歩先の公園など普段と違う環境の中で落ち着いて話が出る環境設定を行うよう支援しました。</li> <li>・写真をや映像を見ながら話しやすい話題の提供を行うことで話を引き出す支援を行いました。</li> </ul>
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者さんが話しかけやすい環境を設定して話を聞く支援を行いました。</li> <li>・本人の好きなテレビを観ながら話をする事で普段出てこないような話を聞くことができた。</li> <li>・本人の希望を伺って実現することで話しやすい雰囲気作りが出来ました。</li> </ul>

#### ④人権・権利擁護に関する研修等実績

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
法人全体	R7. 9. 19	階層別研修（アンガーマネジメント研修） 「管理職のためのアンガーマネジメントで考えるハラスメント防止対策」	一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定アンガーマネジメントコンサルタント 青木 智美 氏	46名
	R7. 8. 26	階層別研修（フレッシュマン研修） 「共にささえあい生きる社会をめざして～津久井やまゆり園の取組～」	津久井やまゆり園 園長 永井 清光	18名
	R8. 2. 6	階層別研修（トップマネジメント研修） リスクのとらえ直し（Positive Risk Taking） “わがまま”“危険を”を解きほぐす、前向きで建設的な手立て	日本意思決定支援ネットワーク（SDM-Japan） 代表理事 名川 勝 氏	7名
	R7. 7. 11 R7. 8. 8	階層別研修（アンガーマネジメント研修） 「介護・福祉で働く方へ はじめてのアンガーマネジメント」	一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定アンガーマネジメントコンサルタント 青木 智美 氏	112名
	R7. 6. 20	課題別研修（障がい当事者講師による虐待防止研修） 「本人活動について」	にじいろでGO！ 会長 奈良崎 真弓 氏	39名
	R7. 8～R8. 2	課題別研修（虐待防止研修） 「虐待防止について」 法人事務局人材企画部企画研修課作成の研修動画視聴とグループワークおよび理解度確認テストの実施	各園にて対応	347名

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
法人全体	R7. 8～R8. 2	課題別研修（身体拘束等行動制限をしないための研修） 法人事務局人材企画部企画研修 課作成の研修動画視聴とグループワークおよび理解度確認テストの実施	各園にて対応	383名
	R7. 11. 17	職種別研修（CW・相談支援専門員研修） “支援”が変わる面接技術～ナラティブ・アプローチの活用～	駒澤大学文学部社会科学学科 教授 荒井 浩道 氏	23名
	R7. 6. 13	職種別研修（法人サービス管理責任者） 「知る」「活かす」「繋げる」 各園実践の振り返り 実践からの気付き（共同会の大切にしたい個別支援の3本柱）	法人意思決定支援 推進担当 厚木精華園 内山 満 氏 愛名 やまゆり 園 大崎 務 氏	37名
	R7. 11. 29	かながわ共同会人権フォーラム2025 「地域福祉との連携による権利擁護」 （相模原市立産業会館多目的ホールにて開催）  ①津久井やまゆり園の取り組み報告 ②当事者による講演 「すべての人がいきやすく、生きていくためには～医学モデルから社会モデルへ～」 ③パネルディスカッション テーマ「地域福祉との連携による権利擁護」	・非営利活動法人ユートピア若宮 理事長 木本 光宣 氏 ・一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク 代表理事 名川 勝 氏 ・津久井やまゆり園 みどり会 副会長 兼 相模原市社会福祉協議会職員 歌丸 浩一 氏 ・社会福祉法人育桜福祉会 佐野 良 氏	79名

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
秦野精華園 希望の丘は だの	R7. 12. 16 ～R8. 3. 17	虐待防止研修 (常勤、臨任職員、非常勤職員)	支援部長・秦野園長 各課長	13回 延べ 128名
	R7. 12. 16 ～R8. 3. 17	身体拘束等行動制限をしないた めの研修 (常勤、臨任職員、非常勤職員)	支援部長・秦野園 長・各課長	13回 延べ 128名
	R7. 10. 16	秦野市障害者虐待防止・権利擁 護研修会「この関わりって虐 待？」※伝達研修	みなせ相談支援セ ンター 所長 岡西氏	3名
	R7. 10. 22	伝達研修「この関わりって虐 待？」	ひまわり：花田	13名
	R7. 11. 28	伝達研修「この関わりって虐 待？」	チャレ：野口	15名
	R7. 12. 9	伝達研修「この関わりって虐 待？」	希望1課：山田	19名
	R7. 4～R8. 3	採用時研修（臨任・非常勤） 虐待防止・権利擁護	園長・施設長	秦野2名 希望6名
	R7. 4～R8. 3	サポーターズカレッジ 個人情報の保護の解除 虐待防止 虐待防止（実践編）虐待防止の ポイントの整理 身体拘束・虐待防止研修 等		
厚木精華園	R7. 9. 2 ～R8. 2. 16	虐待防止研修・身体拘束適正化 研修（常勤・臨任・非常勤）	園長・支援部長	9回 延べ 88名
	R7. 11. 20	地域生活支援課非常勤研修	地域支援部長	11名
	R8. 2. 6 R8. 3. 10	厚木身体障害者等生活介護事業 所（常勤・非常勤）	地域支援部長	6名
	R7. 1～R8. 2	「神奈川県意思決定支援ガイド ライン研修」	神奈川県	5名

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
愛名 やまゆり園	R7. 10. 1 ～R8. 1. 31	虐待防止研修及び身体拘束適正 化研修 (常勤 非常勤)	支援部長 各課課長 法人企画研修	随時 全職員
	R7. 6. 18	発達障害とは	光友会 尾上氏	13名
	R8. 3. 10	アンガーマネージメント研修	協会受講者講師 (2名) 鈴木 手倉森	14名
	R7. 3. 2	園内実践報告会	意思決定推進担当	30名
津久井 やまゆり園	R7. 9. 9 R7. 9. 17 R7. 9. 30	非常勤研修① ・権利擁護、虐待防止に向けて の取り組み等と意思決定支援に ついて ・身体拘束の適正化 法人内の指 針取扱要領の確認 ・日頃の支援を振り返りのディ スカッション	支援部長	44名
	R7. 11. 21 R7. 11. 27 R7. 12. 11 R7. 12. 22 R8. 1. 20 R8. 2. 17 R8. 2. 27 R8. 3. 16	虐待防止研修及び身体拘束等行 動制限をしないための研修	支援部長	92名
	R8. 3. 10 R8. 3. 18 R8. 3. 24	非常勤研修② ・非常災害時、感染症発生時等 の初期行動、危機管理について ～事前の準備と発生後の対応 ・事業所見学	地域支援部長	40名

所属	実施年月日	内容	講師	参加者数
津久井 やまゆり園	R7.9.9 R7.9.17 R7.9.30	非常勤研修① ・権利擁護、虐待防止に向けての取り組み等と意思決定支援について ・身体拘束の適正化 法人内の指針取扱要領の確認 ・日頃の支援を振り返りのディスカッション	支援部長	44名

●強度行動障害支援者養成研修受講状況（令和8年3月31日現在）

（名）

園	基礎研修	実践研修	中核的人材養成研修
秦野・希望	0 (40)	2 (18)	
厚木	1 (42)	1 (18)	
愛名	19 (88)	5 (31)	
津久井	3 (64)	1 (14)	1 (1)

※（ ）は現時点での資格所持者数

●喀痰吸引研修受講状況（令和8年3月31日現在）

（名）

区分	厚木	愛名	津久井	計
対象者	2	1	0	3
指導看護師	4	3	2	9
第三号研修	48	17	25	90
第一・第二号研修	1	0	1	2

※指導看護師：介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業（指導者講習）を修了した看護師

第三号研修：指導看護師等による講義、演習等の一定の研修を受け、特定の者に対し医療的ケアを行うことができる。

第一号・第二号研修：国が実施する研修（委託）を受講することにより、不特定多数の者に対し医療的ケアを行うことができる。

### ⑤利用者自治会の取組み

	秦野精華園 希望の丘はだの	厚木精華園	愛名やまゆり園	津久井やまゆり園
名称	利用者自治会	ひまわり会	○△□パーティー	ピザの会
活動日	セクションごとに 定期開催	・毎月各セクション ・毎月全体会	月1回	月1回
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員総選挙（2年に1度）</li> <li>・役員定例会 2か月に1回、人権研修委員会と一緒に開催</li> <li>・本人部会参加</li> <li>・自治会総会</li> <li>・園イベントへ出店</li> <li>・市内一斉美化デー参加</li> <li>・宿矢名自治会防犯パトロールへの参加（6年ぶり復活）</li> <li>・第三者委員との面会</li> <li>・利用者勉強会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員選挙（毎年）</li> <li>・各課にて毎月自治会を開催。</li> <li>・全体会も同様。</li> <li>・誕生月の方のお祝い。誕生会のケーキを注文、購入。</li> <li>・利用者からの要望、意見集約。</li> <li>・食事メニューの希望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回全体で実施。各セクションでの自治会等は月1回開催。</li> <li>・各月参加利用者からの要望・苦情等を毎月の人権推進委員会/虐待防止委員会に報告/検討し、利用者の要望に対する実現、改善に繋げる。</li> <li>・対面参加とZOOMを活用し全利用者の参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会</li> <li>・意見要望の集約</li> <li>・神奈川県や園からのお知らせ、提案事項に対する議決</li> <li>・他当事者団体との交流</li> <li>・オンブズパーソンへの相談</li> <li>・オンブズパーソンとの個別の関り（散歩等）</li> <li>・各ユニットでの自治会や意見箱への投書で挙げた『やってみたいこと』の企画と実行</li> </ul>
役員構成	会長1名 副会長3名 書記・会計1名 6月2日改選	会長1名 副会長2名	設定なし 司会1名	会長1名 副会長2名 会長副会長は選挙にて決定する。
今年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会役員選挙（6月2日実施）</li> <li>・園イベントへ出店 夕涼み会とお楽しみ会で出店</li> <li>・秦野市総合防災訓練（8月31日3名）</li> <li>・市内一斉美化デー参加（9月7日3名）</li> <li>・宿矢名自治会防犯パトロールへの参加（12月19日男性役員希望有志6名）</li> <li>・第三者委員との面会実施（1月）</li> <li>・利用者アンケートの実施と集計</li> <li>・あおぞら意見交換会 zoom 参加（令和8年3月2日 5名）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物機会の増（しまサポ2回）</li> <li>*1回は大雪で中止</li> <li>・ラ・フェスタ、長寿の祝い、夏まつり等行事の際の進行や挨拶</li> <li>・厚木地区の利用者研修会に参加</li> <li>・誕生会ケーキを平日に変更</li> <li>・利用者代表者が園の運営会議（毎月）と虐待防止委員会（年3回）出席</li> <li>・あおぞら意見交換会参加（1名）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各セクションで要望/苦情の収集機会を設けた。毎月の人権推進委員会/虐待防止委員会に報告/検討し、改善に繋げる。</li> <li>・全体で集まる利用者自治会○△□パーティーを開催。利用者の声を聴く機会の拡大。</li> <li>・運営会議への利用者参加により意見を募り、園運営に反映していく。</li> <li>・毎月キッチンカーに利用者の希望に添ったメニューを依頼。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会 ピザの会（毎月）</li> <li>・6月、2月にオンブズパーソン、1月に神奈川県職員、12月に当事者団体の方が参加</li> <li>・なかみせ移動販売（毎月）</li> <li>・実施要領一部改正（4月）</li> <li>・出張プリティカフェ（4、6、8、9、10、11、12、2月） 月に1～2回実施</li> <li>・お花見会（3月）</li> </ul>

	秦野精華園 希望の丘はだの	厚木精華園	愛名やまゆり園	津久井やまゆり園
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所において自治会開催</li> <li>地域自治会との防災訓練、環境美化デーへの参加</li> <li>園行事におけるの協力</li> <li>園資源倉庫の整理・清掃活動を定期的に行い環境整備へ貢献</li> <li>利用者アンケートの作成や職員人権目標の提案検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度から義務化された地域連携推進会議へ秦野精華園・希望の丘はだの利用者代表として自治会役員が委員として参画。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者自治会総会の実施</li> <li>自治会規約の改定（役員数、退会記念品等）</li> <li>役員選挙の継続</li> <li>行事（夏まつり）の企画等。</li> <li>綿菓子機、かき氷機の購入。</li> <li>園運営への参画</li> </ul>	<p>各寮、各課で利用者自治会等において夏、秋のお楽しみ会や各寮でのイベントで食べたいものやアトラクションなどの候補を挙げてもらい決定していった。また、各イベントでは利用者実行委員の選出などを決めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園運営への参画（運営会議に参加）</li> <li>園祭に実行委員として参加</li> <li>園長との茶話会への出張プリティカフェの出店</li> <li>津久井支援学校との交流（相模湖公園合同花植え 11月）</li> <li>千木良小学校との交流（ポニー乗馬 11月、クリスマスコンサート 12月）</li> <li>地域自治会との交流（子供神輿来園 8月、運動会 10月）</li> <li>当事者活動への参加（2月）</li> <li>相模湖地区社協配布ボランティア（3回）</li> </ul>

## ⑥成年後見人選任状況

(名)

区 分		利用者数	選任
秦野精華園	施設入所	60	23
希望の丘はだの	施設入所	31	6
	秦野地区グループホーム	55	17
	平塚地区グループホーム	16	8
厚木精華園	施設入所	79	53
	グループホーム	23	13
愛名やまゆり園	施設入所	89	55
	グループホーム	24	11
津久井やまゆり園	施設入所	59	30
	グループホーム	30	13
合 計		466	229

## ⑦地域連携推進会議の実施状況

区 分		開催日	会議	訪問
秦野精華園	障害者支援施設	令和7年12月5日	●	
		令和8年2月10日		●
希望の丘はだの	障害者支援施設	令和7年12月5日	●	
		令和8年2月10日		●
	秦野地区グループホーム	令和7年11月21日	●	
		令和8年3月13日		●
平塚地区グループホーム	令和7年11月26日	●	●	
厚木精華園	障害者支援施設	令和7年10月20日	●	●
		令和8年3月26日	●	
	グループホーム	令和7年10月20日	●	●
		令和8年3月26日	●	
愛名やまゆり園	障害者支援施設	令和7年9月26日	●	
		令和7年12月9日		●
	グループホーム	令和7年9月26日	●	
		令和7年12月9日		●
津久井やまゆり園	障害者支援施設	令和7年11月13日	●	●
		令和8年1月16日	●	
	グループホーム	令和7年11月13日	●	●
		令和8年3月12日	●	

## ⑧地域における公益的な取組

### ア 秦野精華園・希望の丘はだの

項目	取組	内容
福祉教育支援	知的障害者ガイドヘルパー養成研修の開催	知的障害者ガイドヘルパー養成研修を3年ぶりに開催し、16名が受講したが、秦野精華園居宅介護事業所への登録者はなかった。 社会福祉士、保育士、教員課程実習として16名を受け入れた。
	大根小学校総合教育授業講師	秦野市社協の仲介により、令和8年2月17日近隣にある大根小学校5年3組の総合教育の授業に秦野精華園園長と希望の丘はだの施設長が招待され、知的障害者支援施設の紹介と小学生からの質問に答えた。2月24日大根小学校5年3組の総合教育の授業の一環として小学生が秦野精華園体育館へ来園し、手話を取り入れた合唱を希望の丘はだのと秦野精華園の利用者50名へ披露、その後利用者・小学生で棒運びゲームを行い交流した。
要支援者の生活支援	「みんなの食堂☆ラパニス」の活動	令和4年6月より開店したみんなの食堂ラパニスは、毎週水曜日の朝食支援と月に一度火曜日の夕食支援を継続（令和8年1月から朝食支援は第1、第3水曜日の月2回）。 令和7年度は、朝食支援43回、夕食支援12回を実施。延べ受け入れ人数は、子供212名・一般887名。調理等ボランティア延べ295名の参加。夕食支援では、幼児児童向けの絵本読み聞かせボラ、チョコレートフォンデュなどのイベントを行うボランティア活動も継続している。
災害支援	福祉避難所としての活用	災害時の福祉避難所として秦野市と協定を結んでいる。8月31日に秦野市防災訓練において福祉避難所受け入れ訓練および防災用品の使用訓練を実施した。あわせて、秦野市と他事業所と受け入れの際の情報共有を図った。

### イ 厚木精華園

項目	取組	内容
福祉教育支援	高齢者支援セミナーの開催	高齢知的障がい者支援のノウハウの普及と啓発のため、高齢者支援セミナーを企画、運営。 年3回、延べ72名参加。

地域交流	介護保険施設との連携強化の取組	近隣の介護保険施設との情報交換を実施。交流機会の確保や、職員研修の協力体制等、連携強化に取り組んだ。
------	-----------------	--

## ウ 愛名やまゆり園

項目	取組	内容
法人資源を活かした支援	専門職による地域支援の取組	専門職（臨床心理士、相談支援専門員、看護師等）を、地域の施設や学校に派遣し、障害者が安心して生活できるよう、サポートする。 心理検査等 回数／3回
	「おぎNOW。」の開催	荻野障がい者相談支援センターと荻野包括支援センターが協力し令和6年より開設。地域の方、認知症が気になる方、障がいのある方、みんなが“得意”を発揮しながら、お互いに補いあい、時間を共にし、一緒に楽しめる居場所として、毎週水曜、毎月第3土曜に開催した。
災害支援	地域防災への支援体制整備	あつあい相談支援事業所「ここから」において、厚木市の防災拠点として活用するため、補助金において災害対策物資を補充した。

## エ 津久井やまゆり園

項目	取組	内容
法人資源を活かした支援	「かながわライフサポート事業」への参加	神奈川県社協「かながわライフサポート事業」に参加し、生活に困難をきたしている援護を要する方々に対して、地域の各機関との連携により要援護者の発見に努め、その課題を解決するために迅速にきめ細やかな援助を行う総合生活相談機能を活性化することを目的に行った。新規相談3件。 ○CSW養成講座参加：1名 ○かながわライフサポート事業総会出席：1回
災害支援	一時避難所としての活用	当園を地元自治会の災害時の一時避難所として位置付けている。9月21日に開催された千木良地区防災訓練に参加。また、自治会役員と意見交換を行った。
福祉教育支援	みんないいひと体験講座・福祉教室	11月11日に北相中学校で、園長と職員による1学年生徒向け講演会を開催した。

## ⑨各園の地域における活動・祭り・コンサート等実施状況

### ●各園の地域における活動

園	活 動 例
秦野・希望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内一斉美化清掃（利用者自治会活動）</li> <li>・「かかしまつり」にひまわり利用者が出展し2年連続の市長賞を受賞</li> <li>・就労移行班による月2回の近隣道路（500m程度）の清掃活動</li> <li>・市内公民館祭り、福祉ふれあい祭り、バザー等でのパン販売（年間12回）</li> <li>・秦野市社協の仲介で大根小学校5年3組の授業へ招待いただき園長・施設長が2施設紹介を実施、後日利用者と小学生の交流会を体育館で実施。</li> </ul>
厚木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の清掃活動への参加</li> <li>・近隣3施設（紅梅学園・野百合園・厚木精華園）合同行事（ハロウィン）の開催</li> <li>・ペットボトルキャップ・古着の回収、納品</li> <li>・農福連携による農業活動</li> <li>・厚木北郵便局花壇整備を通じての福祉事業への参画</li> </ul>
愛名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームを拠点とした七夕イベント、ハロウィンパーティー</li> <li>・近隣保育園児に園内の畑の芋の収穫の場を提供</li> <li>・近隣地域開催の清掃活動、夏祭り等への参画及び協力（愛名、毛利台）</li> <li>・厚木北郵便局花壇整備を通じての福祉事業への参画</li> <li>・厚木市社会福祉協議会と連携した参加支援事業（やまゆりガーデン）</li> <li>・ボランティア懇談会</li> <li>・南毛利公民館シニアフェス（ボッチャ大会）</li> <li>・東京農大もったいないガーデン</li> <li>・キッチンカーの定期開催（1回/月）</li> </ul>
津久井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳馬場自治会清掃への参加（6回）</li> <li>・三ヶ木ほたる祭りへの参加</li> <li>・中央こども神輿の来園と交流</li> <li>・月読神社祭への出店</li> <li>・千木良地区防災訓練への参加</li> <li>・千木良地区運動会への参加</li> <li>・千木良小学校との交流（ポニー乗馬体験、クリスマスコンサート）</li> <li>・津久井支援学校との交流（相模湖公園の花植え）</li> <li>・田園調布学園大学との交流（津久井大豆の栽培、意見交換会）</li> <li>・鎌倉女子大学との交流（千木良地区運動会への参加）</li> <li>・ちょこっとボランティアとして、相模湖地区社協の広報誌を利用者と職員が地域の事業所やお店に配布</li> <li>・相模原市役所での事業所販売会に出店</li> <li>・相模湖地区社会福祉協議会主催「福祉のつどい」に出店</li> <li>・藤野いろ・とり・どり展に利用者作品展示</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相模湖地区公民館まつりに利用者作品展示</li> <li>・園の取り組みや「ともに生きる社会かながわ憲章」をテーマとした園長による外部での講演会を3回開催</li> <li>・園に設置された「鎮魂のモニュメント」を活用した普及啓発に取り組むため県職員や民生委員等の団体による見学を延べ28回受け入れ</li> </ul>
--	--

●各園の祭り・コンサート等（外部に公開しているもの）

園	祭り・コンサート等
秦野・希望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月 にじいろでGO！交流会</li> <li>・11月 秋のお楽しみ会（卒園生の参加）</li> </ul>
厚木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 厚木市民吹奏楽団コンサート（紅梅学園と合同企画）</li> <li>・7月 夏まつり</li> <li>・9月 長寿の祝い</li> <li>・10月 ラ・フェスタ</li> <li>・10月 近隣3施設合同ハロウィンイベント</li> <li>・12月 クリスマス会</li> <li>・1月 新年会</li> <li>・1月 マナカマサ音楽会</li> <li>・3月 春の宴 移動動物園</li> </ul>
愛名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月 TOT WORKS ふれあいステージ</li> <li>・7月 納涼祭</li> <li>・11月 あいなまつり</li> <li>・11月 シャボン玉おやじ</li> <li>・1月 マナカマサ ふれあいコンサート</li> <li>・3月 移動プラネタリウム</li> </ul>
津久井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 湖カフェ（バレエ体操・ボッチャ）</li> <li>・7月 津久井やまゆり園事件追悼式</li> <li>・10月 ハッピーハロウィン in まつりだ!!やまゆり</li> <li>・10月 湖カフェ（しまむら販売会）</li> <li>・11月 追悼花火打上</li> <li>・11月 湖カフェ（ポニー乗馬体験）</li> <li>・12月 雨宮知子さんクリスマスコンサート</li> </ul>

## ⑩防災・防犯訓練の実施状況

### ア 秦野精華園・希望の丘はだの

実施日	開始時刻	想定災害	訓練内容
4月2日	14:30	職員研修	新採用・異動職員への消防設備等の説明
4月26日	14:00	火災	通報訓練：ALSOK 安否確認メール配信
5月28日	14:00	火災	通報訓練：ALSOK 安否確認メール配信
6月19日	18:30	火災	希望の丘はだの総合訓練：火災発生想定訓練 初期消火 二次避難 消防署通報訓練 点呼連絡訓練 職員応援訓練 通報訓練：ALSOK 安否確認メール配信
7月31日	15:30	火災	部分訓練：消火栓・消火器取扱訓練 通報訓練：ALSOK 安否確認メール配信
8月25日	15:00	火災	秦野精華園総合訓練：火災発生想定訓練 初期消火 二次 避難 消防署通報訓練 点呼連絡訓練 職員応援訓練 通報訓練：ALSOK 安否確認メール配信
8月31日	9:10	地震	秦野市総合防災訓練福祉避難所受入訓練 市との連絡訓練 避難所設置 要配慮者受入訓練
9月1日	13:40	地震	防災訓練：(BCP) 法人総合防災訓練(地震想定) MCA無線活用 二次避難 点呼連絡訓練 けが人想定 訓練 通称訓練：ALSOK 安否確認メール配信
10月27日	15:00	火災	部分訓練：消火栓取扱訓練 マンホールトイレ組立組訓練 (BCP)
11月25日	13:30	防犯	法人総合防犯訓練 不審者侵入対応及び通報訓練 防犯カメラ確認訓練 MCA無線活用 防犯グッズ確認及び使用訓練 通報訓練：ALSOK 安否確認メール配信
12月22日	13:30	地震	部分訓練：地震想定訓練(シェイクアウト) 二次避難訓練(希望)
1月30日	11:00	浸水害	ひまわり水害対応訓練 応援体制訓練 受入訓練 通報訓練：ALSOK 安否確認メール配信
2月26日	14:00	地震	部分訓練：地震発生想定訓練(シェイクアウト) 点呼連絡訓練 二次避難訓練(秦野) 通報訓練：ALSOK 安否確認メール配信
3月27日	14:00	火災	通報訓練：ALSOK 安否確認メール配信

※入所施設でのBCP通所施設でのBCP視聴

## GH ひまわり

8月31日	終日	火災 浸水害	全ホーム避難訓練 机上訓練 モア・ももくり水害訓練
2月28日	夕食前後	火災	全ホーム避難訓練 B C P 確認
7月31日	13:40	火災	ひまわり基礎訓練：火災発生想定訓練 初期消火、避難、点呼
12月9日	10:50	火災	ひまわり総合訓練：火災発生想定訓練 初期消火、点呼、通報訓練 個別訓練：消火訓
1月30日	10:30	浸水害	ひまわり部分訓練：水害対応訓練。秦野精華園と連携。公用車ではだの精華園への移動避難実施。

## イ 厚木精華園

実施日	開始時刻	想定災害	訓練内容
4月1日	14:00	職員研修	新採用・転入職員への防火防犯装置・消防設備等の説明
4月23日	13:40	火災	部分訓練（園内避難経路確認）
5月21日	13:40	火災	通報訓練（園内(模擬)通報・放送）、避難訓練 ALSOK メール安否確認訓練
6月25日	13:40	火災	通報訓練（消防署通報・園内放送）、避難訓練 ALSOK メール安否確認訓練
7月24日	13:40	火災	通報訓練（消防署通報・園内放送）、夜間想定避難訓練 ALSOK メール安否確認訓練
8月20日	13:40	浸水害 土砂災害	通報訓練（園内(模擬)放送）、避難訓練
9月1日	10:00	地震	非常食炊き出し訓練
9月1日	13:40	地震	法人防災防犯訓練① シェイクアウト訓練、避難訓練、防災設備等の説明、ALSOK メール安否確認訓練 自衛消防訓練通知書を消防署へ提出
10月23日	13:40	火災	通報訓練（園内(模擬)通報・放送）、避難訓練、消火栓放水訓練、消火器を使用した消火訓練 防火・消防設備等の説明・確認 ALSOK メール安否確認訓練
11月22日	13:30	防犯	法人防災防犯訓練② 不審者侵入時対応訓練 通報訓練（園内(模擬)通報）、避難訓練 ALSOK メール安否確認訓練
12月25日	13:40	火災	通報訓練（消防署通報）夜間想定避難訓練 ALSOK メール安否確認訓練

1月22日	13:40	火災	通報訓練（消防署通報、消防署、園内放送）、避難訓練
2月26日	13:40	火災	通報訓練（消防署通報・園内放送）、避難訓練を予定も利用者の緊急対応により中止 ALSOK メール安否確認訓練
3月20日	9:00	地震	停電時対応訓練（BCP訓練）電気設備年次点検の際に実施
3月23日	18:30	火災	通報訓練（園内(模擬)通報）、避難訓練 ALSOK メール安否確認訓練

## ウ 愛名やまゆり園

実施日	想定時刻	想定災害	訓練内容
4月2日	14:00	職員研修	新人・異動職員を対象。消防設備・防犯設備についてのオリエンテーションを実施。
5月16日	14:00	地震	1課こだま寮避難。避難誘導訓練。インカム訓練。安否確認メール訓練。
6月13日	14:00	地震 火災	2課せせらぎ寮配膳室での出火を想定。初期消火、避難誘導訓練。インカム訓練。
7月14日	14:00	地震 火災	3課ゆのはな寮での出火（地震後）を想定。シェイクアウト、初期消火、避難誘導訓練。インカム訓練。安否確認メール訓練。
8月18日	14:00	職員研修	消防設備・防犯設備訓練を実施。
8月31日	9:00	地震	厚木市防災訓練に参加。避難行動要支援受入れのための訓練。建物被害状況の報告。
9月1日	13:30	地震	法人総合防災防犯訓練。BCPに沿ったHUG訓練。安否確認メール訓練。
10月16日	14:00	地震 火災	1課あおば寮での出火（地震後）を想定。シェイクアウト、初期消火、避難誘導訓練。インカム訓練。
11月25日	13:30	防犯	法人総合防災防犯訓練。実際に勤務している夜間警備員を対象に実施。レーザーセンサーが発報した場合の初動訓練、防犯設備の体系的な説明及び実施訓練を実施。安否確認メール訓練。
12月12日	14:00	地震 火災	2課せせらぎ寮での出火（地震後）を想定。シェイクアウト、初期消火、避難誘導訓練。インカム訓練。
2月13日	14:00	非常食体験訓練	非常食の場所確認。非常食の調理方法の実技訓練。

実施日	想定時刻	想定災害	訓練内容
3月13日	14:00	地震 火災	管理棟給湯室での出火を想定。初期消火、通所利用者の避難誘導訓練。

## エ 津久井やまゆり園

実施日	想定時刻	想定災害	訓練内容
4月2日	13:30	職員研修	新採・異動職員を対象。消防設備・防犯設備についてのオリエンテーションを実施。
6月16日	10:00	地震	全館放送での安全確保の呼びかけ、利用者・職員のシェイクアウト、全館放送及び無線での人員確認と報告
8月5日	14:00	防犯	市職員（警察OB）による座学及び実演とロールプレイ、不審者の対応とさすまたの使用方法、暴漢からの離脱訓練
8月22日	9:30	火災	夜間火災想定通報・消火訓練、消防署立会無 2課ひばり配膳室 IH 調理器で加熱されたプラ食器から出火。 人員点呼確認、公舎職員応援要請及び指示等の練習・無線で避難指示
9月1日	13:40	地震	法人防災防犯訓練① 震度5強の大規模地震発生想定 シェイクアウト、無線機による緊急時の送信訓練、法人災害対策本部との連携訓練、人員点呼訓練、一時避難受入れ準備訓練、負傷者救護及び応急手当訓練、非常食準備訓練 発電機稼働方法の確認、ALSOK メール安否確認訓練
11月25日	13:30	防犯	法人防災防犯訓練② 津久井警察署員による座学及び不審者対応実践2回実施、110番通報訓練、ALSOK メール安否確認訓練
12月8日	9:45	火災	厨房棟より出火想定、消防署立会有 初期消火（失敗）、避難誘導訓練、人員点呼、119番通報訓練、対策本部設置、消防車誘導訓練、消防署員による水消火器の取り扱い説明及び消火活動方法の指導
2月16日	10:00	地震	夜間震度5強の大規模地震発生想定 シェイクアウト、火災発生による初期消火（成功）、人員点呼確認、公舎職員応援要請及び指示等の練習、無線で避難指示

## カ 法人総合防災・防犯訓練の実施

東海地震や南海トラフ地震等の大規模地震の発生への対応として、法人では法人及び各園事業所にBCPを策定し、これに基づく訓練を法人全体で取り組むこととし、次の通り実施した。

### ① 第1回法人総合防災・防犯訓練（メインテーマ：防災）

ア 日時 令和7年9月1日（月） 13:40～15:45

イ 訓練内容

#### ・法人統一

安否確認メール送受信訓練（法人） 法人職員 594名中、421名の参加（70.9%）

防災無線通信訓練（法人） 防災デジタル無線にて各園と法人事務局との間の通信訓練。

#### ・各園及び法人事務局

シェイクアウト訓練、災害対策本部設置訓練、炊き出し訓練、園内放送訓練、避難誘導訓練、無線交信訓練、HUG（避難所運営ゲーム）訓練、応急手当訓練非常食備蓄確認、発電機使用確認、防災備品確認

### ② 第2回法人総合防災・防犯訓練（メインテーマ：防犯）

ア 日時 令和7年11月25日（火） 10:00～15:00（各園により時間が異なる。）

イ 訓練内容

#### ・法人統一

安否確認メール送受信訓練（法人） 法人職員 594名中、422名の参加（71.0%）

#### ・各園及び法人事務局

防犯機器使用訓練、不審者対応訓練、通報訓練、警察署員による利用者向け犯罪対策・座学

## ⑪ 職員採用実績等

正規職員については、令和3年度から年4回（7月・10月・1月・4月）採用としており、令和7年度についても、その4回全てで募集を行った。

7月採用については2月～5月にかけて募集を行い、生活支援員3名、事務員2名を採用した。

10月採用については6月～8月かけて募集を行い、生活支援員1名を採用した。

1月採用については9月～11月にかけて募集を行い、最終選考に2名進んだが、いずれも不採用であった。

4月採用については12月～2月にかけて募集を行い、生活支援員5名を採用した。

令和7年度は合計11名の採用であった。（女性6名、男性5名。うち新卒職員は1名、他法人等からの転職3名、臨時的任用職員・非常勤職員からの登用は7名）

臨時的任用職員については各園で10名を採用した。（令和8年4月1日採用含む）

一方、離職者数は36名（男性30名、女性6名）で、うち18名（男性15名、女性3名）は独立行政法人神奈川県福祉機構職員、神奈川県職員への転職が離職理由であった。

## ア 採用関連

採用活動	区分	求人数等	実施時期 期間等	備考
求人情報 掲載	法人HP	3求人	通年	・新卒 ・中途 ・臨時的任用職員 応募、採用者2名
	ハローワーク	2求人	通年	・生活支援員 ・女性限定求人 採用実績なし
	神奈川県社協 福祉人材センター	2求人	通年	・生活支援員 ・臨時的任用職員 採用実績なし
	26年卒向け求人媒体 （有料掲載）	1社	令和7年 3月～令 和7年12 月	・マイナビ新卒 説明会2件開催 採用実績なし
	新採向け求人媒体 （有料掲載）	1社	通年	・キャリアスUC ◎ 1名応募 →最終選考不採用
	中途向けサイト （有料掲載）	2社		・エンゲージ（令和7年10月～） 採用者1名（臨任採用） ・マイナビ転職（令和7年4月～）

採用活動	区分	求人数等	実施時期 期間等	備考
求人情報 掲載				令和8年3月) 採用者1名
	中途向けサイト (医療福祉特化 有料掲載+成功報酬)	1社	通年	・ コメディカル 採用実績なし、各園での非常勤 採用の実績なし
	中途向けサイト (医療福祉特化 成功報酬型)	3社	通年	・ ジョブメドレー 事務職1名 生活支援員(臨任)2名 看護師(臨任)1名 計4名を採用 ・ 介護ジョブ 採用実績なし ・ レバウエル 採用実績なし
求人広告	大型看板設置	各園	令和3年 度～	◎求人問い合わせ2件有 (生活支援員・看護師)
	公用車マグネット掲 示	各園 公用車	令和3年 度～	
人材派遣	派遣登録	5社	令和6年 2月～	・ ウィルオブワーク ・ レバウエル介護 ・ スタッフサービス ・ ブレイブ ・ ホットスタッフ ・ マンパワー ※人材派遣の利用なし
学校訪問	大学	2校 訪問	4月下旬 から6月 下旬にか けて実施	・ 鎌倉女子大 ・ 東海大学
	短期大学	2校 訪問		・ 小田原短期大 ・ 和泉短期大学
	専門学校	2校 訪問		・ アルファ医療福祉専門学校 ・ 町田保育福祉専門学校 へ訪問

採用活動	区分	求人数等	実施時期 期間等	備考
就職相談 会等	県社協主催 福祉のしごとフェア		①6/11 ②7/18	①厚木、②橋本 採用実績なし
	西部総合職業技術校 合同就職説明会			説明会への参加希望者なく、説明 会への出展はなし。 但し、技術校を通じて秦野臨任へ の応募有（不採用）
福祉のし ごと啓発	福祉の仕事就職相談 会 1st 厚木 『福祉の仕事 就職 支援ガイダンス』講師			福祉の仕事への裾野を広げる活 動の一環。『障がい当事者支援の 仕事について』『転職のきっかけ』 といった内容でガイダンスを行 う。

## イ 募集及び選考

回数	募集期間	採用日	応募者及び決定者数 (名)									
			支援員		看護師		心理士		保育士		事務員	
			応募	決定	応募	決定	応募	決定	応募	決定	応募	決定
1	2/14～ 3/4	7/1	2	2	—	—	—	—	—	—	0	0
2	3/5～ 4/3	7/1	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0
3	4/4～ 5/2	7/1	2	1	—	—	—	—	—	—	3	2
4	5/3～ 6/3	10/1	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—
5	6/4～ 7/2	10/1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
6	7/3～ 8/1	10/1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
7	8/2～ 9/3	1/1	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—
8	9/4～ 10/2	1/1	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—
9	10/3～ 11/4	1/1	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
10	11/5～ 12/4	4/1	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—
11	12/5～ 1/7	4/1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
12	1/8～ 2/4	4/1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
合計			14	9	—	—	—	—	—	—	3	2

ウ 採用内訳

(名)

採用日	支援員	保育士	看護師	事務員	計
7月1日	3	0	0	2	5
10月1日	1	0	0	0	1
1月1日	0	0	0	0	0
4月1日	5	0	0	0	5

エ 離職者数

(令和8年3月末日・単位 人) ※臨時的任用職員含む

月	事務局		秦野・希望		厚木		愛名		津久井	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	2	0	3	3	11	2	7	0
計	0	0	3	0	4	4	15	2	8	0

## ⑫ 事故報告

### ア 法人全体

(件)

報告数	怪我		誤与薬		誤飲食	誤嚥	所在不明	医療処置	物品損壊	病气入院 ・死亡	その他
	骨折	やけど・ 傷・打撲 等	飲ませ 間違い	飲ませ忘れ・ 飲みこぼし							
393	19	94	40	80	5	0	6	62	9	57	21

### イ 秦野精華園・希望の丘はだの

(件)

報告数	怪我		誤与薬		誤飲食	誤嚥	所在不明	医療処置	物品損壊	病气入 院・死亡	その他
	骨折	やけど・ 傷・打撲 等	飲ませ 間違い	飲ませ忘れ 飲みこぼし							
90	6	15	21	13	0	0	1	8	7	6	13

#### ○具体的事故例

発生日	種類	概要	対応（その場での対応）	対策（再発防止策）
4月5日	死亡	<p>5:00 息をしており寝ているのを確認する。</p> <p>5:15 東寮職員より西寮職員に対してAさんの様子がおかしいと報告がある。</p> <p>5:17 西寮職員がAさんの居室へ向かう。本人の呼吸と反応がなかったため、東寮職員にAED準備と救急要請する。</p> <p>5:19 AEDを使用開始。AED解析の結果作動を必要とせず、ガイドランスで心臓マッサージの指示があり心臓マッサージを開始する。</p> <p>5:25 救急隊到着 他課に応援要請。応援職員より園長部長へ連絡を入れる。</p> <p>5:40 搬送先の東海大学附属病院へ搬送。救急車の中で機械による心臓マッサージを行い、心臓の動きを強くする薬を投与開始。</p> <p>5:46 母に連絡を入れる。</p> <p>5:50 課長、看護師に報告する。</p> <p>6:07 母に再度携帯に連絡を入れる。母よりこれから病院へ向かうと話がある。</p>	<p>夜勤者が連携して、救急要請、AED準備とおこないながら、他課へ応援要請をして、上席者へ連絡を取り情報を伝えていた。家族への連絡は状態を伝え、すぐに病院へ来てもらうように説明するなど限られた職員の中で対応した。</p>	<p>4月3日に内科受診、4月4日精神科受診をおこなっていた。食欲の低下があり、内科医から指示のあった糖分、脂肪分の多いスイーツ等を用意しているところであった。その中での急変であった。今後も医療との連携を密に行い、緊急時の対応については想定した訓練を行っていく。</p>

		<p>6:45 ご両親東海大病院に到着。</p> <p>6:51 ご家族と一緒に医師より死亡確認を行う。アドレナリン投与やできることはしたが自己心拍が再開されなかった。 検査したが死因は分からないと医師より話があった。</p>		
2月21日	てんかん発作による緊急搬送	<p>19:08 食堂に居た本人の姿が見えないため、居室の様子伺いに行くと、本人がベッドに倒れ仰向けになっている。手足が突っ張りてんかん発作（強直発作と思われる）を確認する。眼球上転している。声を掛けると息を吹き返したように口を空け、いびきのような呼吸になり、意識が戻って行く。その間2分少々。バイタルチェック spo2/98% 表情は通常と変わらない。(前日に服薬変更している)。</p> <p>19:30 救急隊到着 30分ほど受け入れ先を確認中に、救急車内で嘔吐あり。2課発見職員が搬送へ同行</p> <p>20:00 東海大学病院に搬送が決まり出発する。車中では数回嘔吐が見られ、頭や口に手をやる等して調子が悪そうであった。救急隊員が口に手をやる本人の手を静止。</p> <p>20:13 東海大学病院に到着。処置室に入る。CTや血液検査を行うが問題ないとのこと。テンカンを抑える点滴と水分の点滴を行う。医師からは薬を直ぐに変えるようにとの秦野厚生病院の担当医師への紹介状を預かる。発作があった時の注意点を聞く、怪我と窒息に注意するようにとの指示がある。</p> <p>21:15 診察が終わったとの連絡があり、東海大学病院にお迎えに行く。本人歩いて車に乗り帰園される。</p> <p>22:25 希望の丘はだのに到着する。</p>	<p>声を掛けながら、体を横に傾けようとするが、体が硬直し、戻ってしまう。仰向けの状態でみるみるうちに顔が青ざめていき呼吸がない。19:10 2課職員より K.M さんがチアノーゼ状態であるとの報告を受ける。AEDを持ち出し居室に向かい、救急車を要請。地域支援課に救急車受け入れを依頼。</p> <p>秦野精華園へ応援を要請する(園長、T職員が駆けつける)。</p> <p>20:10 母親に状況を電話で報告する。「9日に薬を変えたからではないか、27年飲んできた物を変えたからではないかとの話しがあった。母親へ東海大学病院向かうことは可能か聞くが、母は体調悪く、高齢であり車もない為向かうことが出来ないとの返答。20:15 課長に現状報告をする。迎えについては、1課職員が対応することを伝える。</p> <p>22:33 当日ナースコール看護師に連絡する。夜間は呼吸の確認を適時するようにとの指示。</p>	<p>厚木精華園からの移行直後、厚生病院医師が直ぐに薬を変更してしまったことにより、27年間なかった発作が現れてしまったと思われる。服薬についての母の懸念・抵抗感については初診時お伝えしてあったが、医師に薬を変えないように依頼することは難しい。今回は救急搬送したことで、東海大学医師に薬を元に戻す意見書を書いてもらえた。</p> <p>重度利用者については所在を常に確認できるようにし、ベッドの角やタンスの角等、クッション材を付ける等の転倒対応も必要。</p> <p>今回寮内見守りが1名体制時で、急変発生時対応に手間取っている。希望の丘はだので重度利用者の受け入れを開始して、19時以降の支援が手薄な状況が目立っている。非常勤遅番者の勤務時間を 11:30～19:30 にすることで、他利用者も含めてより手厚い支援を行えるよう検討したい。</p>

## ウ 厚木精華園

(件)

報告数	怪我		誤与薬		誤飲食	誤嚥	所在不明	医療処置	物品損壊	病気入院・死亡	その他
	骨折	やけど・傷・打撲等	飲ませ間違い	飲ませ忘れ・飲みこぼし							
120	2	29	5	11	3	0	1	28	2	38	1

### ○具体的事故例

発生日	種類	概要	対応（その場での対応）	対策（再発防止策）
8月17日	死亡	<p>8月3日 食欲不振、嘔吐、血圧低下、尿量が少なく、厚木市立病院へ緊急通院。「尿路感染」「肺炎の疑い」で入院加療となる。</p> <p>8月8日 担当医師より心臓が30%しか機能しておらず、いつ急変してもおかしくない状況で、診断として「心筋梗塞」との診断を受ける。また、他の臓器（腎臓、肝臓）の数値も良くないが、本人の治療拒否がある状況では、リスクが高く、これ以上の検査、治療はできないとの話もあった。</p> <p>8月9日～8月14日 服薬の拒否があったため、職員が交代で病院へ行き対応。</p> <p>8月17日 10:15 病院看護師より、本人の意識がほとんどない状態との連絡。10:55 職員が到着した際には、既に息を引き取っていた。</p> <p>12:30 家族が到着。12:48 死亡確認。</p>	<p>7月の退院後より、体調芳しくない状態（食事が摂れない等）が続く。静養室にて、見守りを行っていた。</p> <p>8月3日 嘔吐、血圧低下もあり、すぐに医師、看護師にも報告。早期発見・緊急通院に繋げることが出来た。</p>	<p>退院後の日々の状態観察の病院との連携を図りながら、早期発見・緊急通院に繋げていけるよう、取組んでいく。</p>
2月6日	骨折	<p>1月20日に左肩が上がらない症状があり、峯崎整形外科を受診、打撲との診断を受けたが、以後も左肩が上がらない状態が続いているため、神奈川県リハビリテーション病院整形外科へ通院。改めて検査を行いたい旨を伝える。また、本人より「ここが痛い」と左胸を押さえて訴えることが見られ、起床時などにふらついて転倒することが多く、そういった受傷が考えられる旨も補足する。左肩・左肋骨のレン</p>	<p>通院結果を受け、見守りカメラを確認。</p> <p>1月21日 理学療法士による両上肢リラクゼーション、ストレッチ、肩甲骨周囲筋のケアを実施。特に指摘なし。そのため、1/22～2/6 通院前まで個人記録と照らし合わせながら確認。1/22の7時13分、右手で左腕を持ち上げ伸びをしている所を確認。</p>	<p>見守りカメラの確認では受傷原因が確認できなかったが、本人からのベッド柵にぶつけたとの発言を受け、緩衝材の設置や離床センサー等環境整備を実施。怪我の完治までは、歩行器から車いすを使用し、居室も静養室で対応とした。また、要望や行動の再アセスメントを行い、動線上に危険がない</p>

発生日	種類	概要	対応（その場での対応）	対策（再発防止策）
		<p>トゲンの結果、左肩には異常は見られないが、左肋骨4か所にひびを確認。骨折の様子から、複数の受傷で骨折したものと思われるとの所見であった。また、左肩が上がらない症状は肋骨の痛みによる可能性もあるとのことであった。肋骨は治りが早く保存治療が最善のため、痛み止めが処方され、以後痛みが続く等異常があるようであれば再度通院指示を受ける。</p>	<p>特に左肋骨を庇うような様子なし。以降、2/6 まですべて録画を確認したが、転倒等の映像なし。右手で左腕を持ち、上へ伸びをしながら左腕を右側に反る様子も見せていたが特に左側肋骨を庇うような様子はなかった。本人が過ごす食席やサロンでの確認はできたが、居室やトイレ内についてはカメラが付いていないため確認は出来なかった。</p>	<p>か等の確認を行った。</p>

## エ 愛名やまゆり園

(件)

報告数	怪我		誤与薬		誤飲食	誤嚥	所在不明	医療処置	物品損壊	病気入院 ・死亡	その他
	骨折	やけど・ 傷・打撲 等	飲ませ 間違い	飲ませ忘 れ・飲みこ ぼし							
99	5	23	9	47	0	0	1	5	0	9	0

### ○具体的事故例

発生日	種類	概要	対応（その場での対応）	対策（再発防止策）
6月4日	入院	0時に自室にて嘔吐を確認。朝食後にも嘔吐があり、看護師連絡、通院の指示を仰ぐ。レントゲン検査及び採決の結果、下腹部に排便がやや溜まっており、肺もやや白く、白血球とCRPの値も高い。又、胆のう内に石が映っており、これが原因で吐き気や発熱に繋がっている可能性あり、更に詳しく原因を調べ、「胆のう炎」の診断にて入院となる。	前日からの状態を勤務者で引継ぎ、スムーズな対応ができるよう、既往歴を含む情報収集を図る。	10年前に胆のう炎、イレウスを発症し1か月入院していたことを入院後に確認している。普段より嘔吐も時折あり、胆のう炎かイレウスか兆候を見分けるのは職員では難しいが、看護師に早めに報告、その後スムーズに受診に繋がるよう対応する。
2月20日	骨折	19日午後、活動場所へ向かっている際、総務課前の廊下で、出会い頭で（男性トイレから出てきた）他職員とぶつかり、転倒する。20日、本人の右上腕部内側にあざがある事を確認。看護課に報告し通院の指示を受ける。	受傷直後ボディチェックするも本人からの痛みの訴えや外傷は見られなかったが、翌日に痛みの訴えと外傷の変化を確認する。受傷時の状況は見守りカメラにて確認。レントゲン撮影、CT撮影を行い右上腕骨近位端骨折の診断を受ける。	利用者が安全に施設内を移動できるよう、施設内の見通しが悪いところ、死角になるところなどを再点検し、危険個所や注意が必要な所を職員間で共有する。骨粗しょう症のリスクについて、早めに検査を依頼する。
2月26日	死亡	2月18日（水）、軽度の誤嚥性肺炎でおおば寮にて静養中であったが、食事、水分が取れない状況が続いている為、通院する。検査の結果、低ナトリウム症との診断で入院し、点滴療養されていた。21日（土）の20:00に病院より危篤状態との連絡あり。20:50に老衰の為亡くなる。	21日（土）の20時に病院より危篤状態との連絡あり。ご家族が病院に着き、20:50に老衰の為亡くなられ死亡確認。その後職員数名も病院に駆けつけ本人の死亡を確認している。	歴代職員の長年の献身的な介護により、本人が医療的処置を必要とせず間際まで好きなカップラーメンを食べたりラジオ等を聴きながら暮らすことが出来た。引き続き、医療と連携した支援をつないでいく。

オ 津久井やまゆり園

(件)

報告数	怪我		誤与薬		誤飲食	誤嚥	所在不明	医療処置	物品損壊	病気入院 ・死亡	その他
	骨折	やけど・ 傷・打撲 等	飲ませ 間違い	飲ませ忘 れ・飲みこ ぼし							
84	6	27	5	9	2	0	3	21	0	4	7

○具体的事故例

発生日	種類	概要	対応（その場での対応）	対策（再発防止策）
7月31日 8月31日 11月2日	骨折 (11月 2日の み入院 に分類)	右脚下駄骨折 肋骨骨折 右脚転子骨骨折  普段は、ご自分で行動を起こすことは少ないが、発作による影響により立ちあがり、その後脱力から転倒し骨折を起こす。11月の入院では、入院手術を行った。	都度、通院し、医師の指示を仰ぐ。 ご家族や後見人に連絡を行い、状況報告や謝罪を行う。 過去に、身体拘束(体幹拘束)を行っていたが、低床ベッド、音感センサー購入等による環境整備により解除した。 しかし、立て続けに骨折し、これ以上は命の危機に関わるという判断により、臨時身体拘束適正化会議を実施し、ご本人が普段と異なる様子が窺える際に、体幹拘束を再開することとした。	左記のとおり、普段と異なる様子(一人で立ち上がろうとする、タオルを普段以上に欲しがると等)が見受けられ、且つ職員が個別に見守ることが難しい場合は体幹拘束を実施して安全を担保する。
1月2日	やけど	12月30日に帰宅し、1月2日に帰園するが、両足鼠径部付近に深い傷を負っている。転んだという説明であったが、医師2名の診断は熱傷であった。	当該利用者の援護地に通報した。	援護地からの結果を待つ段階である。園としては、引続き援護地と連携して対応する。

⑬ひやりはっと報告

	秦野精華園 希望の丘はだの	厚木精華園	愛名 やまゆり園	津久井 やまゆり園	合計
1 負傷	62	75	254	244	635
2 服薬	116	38	102	47	303
3 誤嚥	18	15	14	16	63
4 誤飲食	5	5	26	8	44
5 物品破損	15	4	25	25	69
6 物品紛失	33	16	27	14	90
7 所在不明	19	7	25	30	81
8 医療	18	6	16	20	60
9 その他	17	22	75	21	135
合 計	303	188	564	425	1,480

## ⑭ 苦情・要望報告

### ア 法人全体

(件)

申出人	内 容					合計
	職員接遇	サービス内容	施設・整備	被害・損害	その他	
利用者本人	0	0	0	0	0	0
家族	6	0	0	1	0	7
その他	1	0	2	0	0	3
合計	7	0	2	1	0	10

### イ 秦野精華園・希望の丘はだの

(件)

申出人	内 容					合計
	職員接遇	サービス内容	施設・整備	被害・損害	その他	
利用者本人	0	0	0	0	0	0
家族	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	2	0	0	3
合計	1	0	2	0	0	3

### ○ 具体的苦情・要望例

発生日	申出人	概 要	対 応
5月27日	近隣住民	園の外周の木がアパートにかかっている、洗濯物が干せないの切っ掛けで切してほしい。	業者に依頼し、伐採をした。
7月31日	A氏	細い路地で先行車を譲るためよけて停車していたところ、後から来た送迎車が停車せず、突っ込んできた。こちらが進んだところ、送迎車の運転手が降りて文句を言いに来た。結果、送迎車が後退したものの、別れ際に挑発的な態度をとられた。	職員に運転の指導をしてほしいことと園の看板を背負っていることを認識してほしいという要望に応え職員に安全運転、思いやりの運転について指導をした。
12月2日	近隣住民	園芸畑近隣住民より、小さい葉がたくさん落ちてくる。手入れをしてほしい。	現場を確認し、すぐに草刈り等を実施した。

## ウ 厚木精華園

(件)

申出人	内 容					合計
	職員接遇	サービス内容	施設・整備	被害・損害	その他	
利用者本人	0	0	0	0	0	0
家族	3	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	0	0	0	3

### ○具体的苦情・要望例

発生日	申出人	概 要	対 応
5月17日	家族	家族会へ家族が来園し、担当課長が話を伺う。今年度、担当職員が変わったが、担当職員の電話対応に疑問を感じた。ベッドマットの購入について、経緯の説明がなかったことや、自宅へ取りに来てもらえなかったことに不満だった。また、家族会について、「担当職員が勤務していないことはおかしい。」「コロナ禍が終わったのに、面会時間が少なく、利用者との飲食も認めないのはおかしい。」「家族会で話す人は、マスクを外して話さないと聞こえない」等の話があった。	「話を聞いて欲しい」が申出人の要望であった為、来園時に場を設定した後、改めてご自宅へ訪問。 (利用者、担当職員、課長) ご意見に対し謝罪し、今後の対応について丁寧に説明。納得を得る。 また、家族会長にも相談をし、家族会の会場を体育館から会議室へ変更し、マイクを使用する等の対策をとった。
6月11日	家族	利用者本人と家族が出掛けた際、利用者より職員が怖い、電話をかけてもらえない、との発言があった為、確認したいと連絡を受ける。	職員面談を実施し状況を確認。怖いと訴えがあった原因と電話の希望があった場合の対応方法を具体的に報告し、納得を得る。
7月14日	後見人(弟)	利用者本人宛の「国民年金支給変更通知書」が開封された形で送られてきた。令和6年度に同様の事象があり、苦情申し立てしたにも関わらず、改善が図れていないことに関し説明を求められる。	令和6年度のご意見について、「郵送物開封確認書」を交わしており、後見人より「どの書類を開封するかは判断は園に任せる」との記載があったことを報告。一方で、開封した書類だけを送付したことについては配慮不足であった為、謝罪。迅速に対応したことで、すぐに納得を得る。

## エ 愛名やまゆり園

(件)

申出人	内 容					合計
	職員接遇	サービス内容	施設・整備	被害・損害	その他	
利用者本人	0	0	0	0	0	0
家族	0	0	0	1	0	1
その他	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	0	1

### ○具体的苦情・要望例

発生日	申出人	概 要	対 応
10月16日	利用者家族	通所利用者間のトラブル。体育館にて職員が見守りについている中、他の利用者から服の上から噛まれ、利用者が上腕を受傷。通院したが噛み跡が残る。噛みついた利用者の障害特性の理解と同様事故が複数回ある中で今回の受傷に至った経緯も含め検証し、園として管理責任に不備があったことを含めて、利用者のご家族に園から謝罪するが、受傷された利用者の親が、噛みついた利用者の家族からの謝罪及び当該利用者の退所を強く求められた。園の第三者委員に入っただいで対応した。	本件の管理責任は園にあり、噛みついた利用者家族の謝罪及び当該利用者の退所には応じられないことを、園の第三者委員にも入っただき繰り返し話し合いの場を持つが受け入れていただけず。園の再発防止策としてトラブル回避のため、利用者同士の同線を整理し、関わらない状況をハード面、ソフト面で改善していく説明を行うが、家族からは100%防げるものでない以上受け入れられないとのことだった。事故以降は受傷された利用者は当園には通所せず、他の通所施設を利用していたが、3/31付けで当園の通所は退所となる。並行して法人を通し、法人顧問弁護士に相談、施設賠償責任保険の適用を受け、治療費等の補償手続きを家族と連絡をとり対応継続中（第三者行為災害）。

オ 津久井やまゆり園

(件)

申出人	内 容					合計
	職員接遇	サービス内容	施設・整備	被害・損害	その他	
利用者本人	0	0	0	0	0	0
家族	3	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	0	0	0	3

○具体的苦情・要望例

発生日	申出人	概 要	対 応
9月30日	家族	緊急一時保護の利用者(児童)に蹴られ、警察に通報したことについて、ご家族に報告とお詫びの電話を連絡した。すぐに連絡を受けた事は良かったとしつつも、そのような緊急性が高い利用者であるとわかった上で、職員対応が不十分ではないかとのお叱りを受ける。	再発防止に努めることと、上席に報告する旨を伝える。
12月7日	家族	実父がユニットに電話するも不通だった。他課に電話をかけて、対応した職員より当該ユニットに連絡がある。20:15に、折り返しの電話をする。要件を確認するも、立腹された様で「何かあったのか?」との質問がある。電話をいただいた時刻は利用者さんの対応で受信できなかった旨を伝える。	その場合は、納得された様子で、ご本人の様子を伝えると「火曜日に行きます」との話しがあり電話を終える。 翌日に課長からTELし、父より「昨日は大変だったみたいだね」とお話しいただき、怒っている様子は全く感じられなかった。改めて状況によっては出られないこともある事をお伝えしている。
1月7日	家族	短期利用者の兄からの苦情。短期入所後、本人の物でない衣類があったこと、着衣して欲しい衣類を着ずに帰宅してきたことを指摘される。また、前回の短期入所でストレスがかかっていた様子があり書面にまとめたので読んで欲しいという依頼がある。短期利用をするご本人は、衣類の不備に執着するので紛失や着衣に気を付けて欲しい、今回のストレスも、退所時に女性職員が丁寧に様子を伝えてくれたことで気づくことができたので、男性生活課に日勤帯だけでも良いので女性職員を配置して欲しいと要望がある。	兄の気持ちに寄り添いつつ、衣類の不備については、今後の利用時にしっかりと確認することを伝え、男性課の女性職員配置については困難であることをお伝えする。

## ⑮ 家族会・後援会の開催状況

### ●家族会の開催

園	開催回数
秦野・希望	6回（土曜日開催）、11/19 施設見学会
厚木	9回（土曜日開催）、通所家族懇話会1回
愛名	9回（原則第三土曜日開催）
津久井	園家族会7回（土曜日開催）、通所事業所懇話会1回

### ●後援会の開催

園	開催回数
秦野・希望	5回（総会1回、役員会4回）
厚木	2回（総会1回、役員会1回）
愛名	2回（総会1回、役員会1回）
津久井	3回（総会1回、役員会2回）

## ⑯ 公正・透明な職場づくり制度運営状況報告

令和7年度における法人全体の情報提供処理の状況について、公正・透明な職場づくり推進要綱第16条に基づき次のとおり報告します。

(件)

情報提供件数	処理件数	未処理件数	備考
2	2	0	—

※「支援相談目安箱」受付件数含む。